

付託議案

昭和十年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)
昭和七年法律第一號中改正法律案(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(政府提出)
臨時利得稅法案(政府提出)
日本銀行納付金法中改正法律案(政府提出)
國際文化事業ニ關スル經費支辨ニ關スル法律案(政府提出)
造幣局ノ廳舎、工場其ノ他ノ用ニ供スル建物及其ノ附屬設備ノ新營費ニ關スル法律案(政府提出)
東京高等農林學校及函館高等水產學校ノ創設ニ伴フ帝國大學特別會計及圖書館特別會計ノ關涉ニ關スル法律案(政府提出)
日本銀行金買入法中改正法律案(政府提出)
朝鮮銀行法中改正法律案(政府提出)
臺灣銀行法中改正法律案(政府提出)

第六十七回帝國議會
衆議院

昭和十年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外一件委員會會議錄(速)第十回

會議

昭和十年二月十六日(土曜日)午後一時四十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 岡田 忠彦君

理事松村 光三君 理事上田 孝吉君

理事岡田喜久治君 理事中村 繼男君

田邊 七六君 廣瀬 爲久君

小笠原三九郎君 大口 喜六君

太田 正孝君 大山斐瑤磨君

森 昇三郎君 森田 福市君

金光 庸夫君 山本 厚三君

松田 正一君 前田房之助君

小川郷太郎君 矢野庄太郎君

中島彌團次君 栗原彦三郎君

龜井貫一郎君

同日委員後藤亮一君辭任ニ付其ノ補闕トシ

テ松田正一君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

內閣總理大臣 岡田 啓介君

大藏大臣 高橋 是清君

海軍大臣 大角 岑生君

外務大臣 廣田 弘毅君

陸軍大臣 林 銑十郎君

農林大臣 山崎達之輔君

出席政府委員左ノ如シ

內閣書記官長 吉田 茂君

外務參與官 松本 忠雄君

外務省文化事業部長 岡田 兼一君

大藏政務次官男爵 矢吹 省三君

大藏參與官 豐田 收君

大藏省主計局長 賀屋 興宜君

大藏省主稅局長 石渡莊太郎君

大藏省理財局長 青木 一男君

大藏省銀行局長 荒井誠一郎君

大藏省外國爲替管理部長 和田 正彦君

大藏書記官 入間野武雄君

大藏書記官 廣瀬 豐作君

大藏書記官 大矢半次郎君

大藏書記官 山田 龍雄君

大藏書記官 木内 四郎君

大藏書記官 入江 昂君

預金部長 金子 隆三君

陸軍主計總監 平手勘次郎君

陸軍一等主計正 大城戸仁輔君

海軍參與官 窪井 義道君

海軍主計中將 村上 春一君

海軍中將 吉田 善吾君

農林省農務局長 小濱 八彌君

農林省經濟更生部長 小平 權一君

農林書記官 田淵 敬治君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル

爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

昭和七年法律第一號中改正法律案(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(政府提出)

臨時利得稅法案(政府提出)

日本銀行納付金法中改正法律案(政府提出)

○岡田委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、其

前ニ一寸諸君ニ御諒解ヲ求メテ置キマスガ、會議ノ順序ノコトニ付テ申上ゲテ置キマス、今日ハ午後ニ貴族院ノ豫算總會ガアルト云フコトデアリマシタカラ、午前ニ國務大臣ノ出席ヲ求メル積リデ、昨日ハ十時ト宣告シテ置キマシタガ、其後貴族院ノ方ノ豫定ガ變更サレマシテ、今日ハ午前ハアリマシタガ、午後ハ休ンデ居リマス、仍テ豫定ヲ變更シタ譯デアリマス、ソレカラ月曜日以後ノコトニ付テ一應申上ゲテ置キタイノデアリマスガ、貴族院ハ毎日十時ヨリ午後ニ互ッデ開クサウデアリマシテ、國務大臣ノ御出席ハ餘程繰合セシマセスト都合ガ悪いノデス、仍テ是ハ其都度毎日内閣並ニ貴族院ト打合セ致シマシテ、會議ノ都合ヲ決メタイト思ヒマスガ、兎ニ角月曜日以後ハ毎日十時ヨリ開クコトニ豫定シテ置キマスカラ、其事ヲ御含ミ願ヒマス、材料ニ付

テ森田君御發言ガアリマスカ

○森田委員 政府ノ方ニ御願シテアル勅令要項ニ省令要項、アレガマダ出ヌノデアリマスガ、アレハ何時頃ニナリマスカ、御伺致シマス

○石渡政府委員 月曜日ニ提出致シタイト思ッテ居リマス

○岡田委員長 松村君ノ發言ヲ許シマス

○松村委員 先ヅ大藏大臣ニ御伺致シマス、本委員會ハ相當ナ日數ニ互リ質疑應答ヲ重ネマシタガ、其結果此案ノ提出ノ趣旨目的ガ、質疑ヲ重ネレバ重ネル程非常ニ不徹底デアリ、不明瞭デアリ、寧ロ矛盾撞著ノ隨分アルコトヲ考ヘラレルノデアリマス、何故ナレバ總理大臣ハ提案ノ理由トシテ負擔ノ均衡、災害對策上收入ノ補填、人心惡化ヲ防グ社會政策的ノ意義デアルト、專ラ三ツノ目的ヲ擧ゲラレテ居リマス、次ニ大藏大臣ハ專ラ政治的ノ理由ヲ強調サレテ、收入ノ方ハ二次的ノ意味デアルト云フコトヲ述ベラレ、又負擔ノ均衡ハ主タル問題デナイトモ言明サレテ居リマス、大藏政務次官ガ提案ノ理由ニ明示スル所ハ、國庫收入増加ノ趣旨ヲ以テシ、其他ノ趣旨ハ附帶的ニ説明ヲ加ヘラレテ居リマス、斯ノ如ク總理、藏相並ニ大藏省ノ提案理由、此三

者間ノ説明ニ統一ヲ缺イテ居ル、即チ提案ノ趣旨目的ガ甚ダ不明瞭デアルトヲ吾々ハ感じタノデアリマス、又過般大藏大臣ハ主シテ政治上ノ目的ダ、世間ニ色々儲カッタ者ガ都合ダト云フヤウナ非難モアルカラ、之ニ課稅シヨウト云フヤウナ、政治上ノ目的デアルト強調サレテ居ラレマシタガ、ドウモ其趣旨目的ガ甚ダ不明瞭デアル、其當然ノ歸結トシテ、租稅ノ二大原則トモ云フベキ、即チ増稅ノ主タル明解ノ目的ト負擔ノ公正ト云フ二大眼目ガ甚ダ不徹底ナルヲ遺憾ニ思フノデアリマス、是レ以上論議ヲ重ネテモ、或ハ大藏大臣ノ明快ナル御答ヲ得ラレヌノデハナイカト思ヒマスガ、

私ノ質問ヲ進メルニ先立チ若シ此際大藏大臣ニ何カ御意見ガアルナラバ、總理、大藏大臣、大藏當局ノ間ニ説明上ノ統一ヲ缺クト云フ點ニ付キマシテ、一應ノ御説明ヲ願ヘレバ仕合デアリマス

○高橋國務大臣 此問題ハ度々御答モシタ

ノデアリマスルシ、又度々申ス通り、一々答ヘタ人々ノ言葉ヲ採ッテ、其言葉ガケニ重點ヲ置イテ論ズレバ、言フコトガ各違フト云フヤウニモ考ヘラレル、ソレデアルカラシテ私ハ先ヅ財政的ニ言ヘバ、是ハ增收ヲ計ッタト云フコトニナル、併ナガラ色々他ノ

考ヲ併セテ言ヘバ、是ハ政治的ノ意味ガ深クアル、斯ウ云フコトデアッテ、ソレヲ一々細カニ互ッテ言フナラバ、總理大臣ノ答ヘラレタ所モ、政府委員ノ答ヘタ所モ、私ノ言フ所モ決シテ二ツハナイダラウト思フ、唯見様ニ依ッテ、例ヘバ負擔ノ公平ヲ期スル——成程税ト云フモノハ負擔ノ公平ヲ期スルコトハ言フ迄モナイ、併シ是ハ寧ロ一般ノ租税ノ上ニ付テ考慮スベキ問題デアッテ、此問題デ負擔ノ均衡ヲ考ヘルト云フコトハ——此景氣ニ乗ジテ特ニ著シク利益ノ多イ者ガ此處ニアルガ、一般的ノ景氣ハ全面的ニハ恢復シテ居ラス、故ニ即チサウ云フ者カラ税ヲ取ルノガ宜イト云フヤウナ論モ、ツイ先達マデハ中々ヤカマシカッタノデアリマス、サウ云フ所カラ、小サク見レバ、成程儲ケナイ者、或ハマダ今日不況ノ打撃ヲ受ケテ居ル所ノ實業家ノ收入ト比ベテ見レバ、特ニ利益ノ多イ營業者カラ、其一部ヲ國庫ニ納メサセテ行クト云フコトハ、此二ツノ——惠マレナイ者ト大ニ惠マレタ者トノ均衡ヲ得ルト云フコトガ言ヒ得ルノデアリマス、併シ之ヲ一般ノ税ノ考カラシテ均衡ト云フコトニナッタラバ、必ズソレデハ足りナイト云フ議論モ起リ得ルノデアル、ガカラ是ハアナタ方ノ方デモソコヲ一ツ斟酌シ

テ、此法律ト云フモノハ一時臨時ニ出來ル法律デアル、是ガ爲ニ國庫ノ收入ガ殖エルト云フコトハ惡クナイコトデアル、同時ニソレ程惠マレナイ所ノ實業家カラ見テ羨シガラレテ居ル、此者ニ對シテ利益ノ一部ヲ納メサセルト云フコトハ、稍、其人達ノ心ヲ安ズルト云フコトニモナル、摘ンデ言ヘバサウ云フ譯ナンドス

○松村委員 大體ノ御説明ハアリマシタガ、過般來ノ問答ヲ繰返シタニ過ギマセヌ、私ハ茲ニ此點ニ關スル議論ヲ進メルコトヲ止メマシテ、只今大藏大臣ガ、惠マレタ者ト惠マレザル者ノ間ノ負擔ノ均衡公平ヲ圖ルト云フコトヲ言ハレマシタガ、左様ナ事實ハ本案ニ無イト云フコトハ、後カラ具體的ノ數字ヲ舉ゲテ御質問ヲ致シマス、ソコデ結局提出ノ趣旨目的ガ不明瞭デアル結果、各方面ニ矛盾ヲ來スノデハナイカト思フノデアリマスガ、第一ニ伺ヒマスコトハ、此臨時利得税ト前ノ戰時利得税トハ大體同ジヤウナ趣旨デアリマスルカ、ソレトモ根本的ニ其性質ガ違ヒマスルカ

○高橋國務大臣 前ノ戰時利得税トハ事情モ時勢モ違ッテ居リマスカラシテ、ソレダケ違ヒハアルノデス、前ノ戰時利得税ノ通りニ總テ行クト云フ譯ニハ行カヌノデアリマ

ス

○松村委員 戰時利得税ノ通リトハ私ハ伺ッテ居リマセヌ、大體斯ノ如キ課税ヲスル根本ノ趣旨目的ガ同ジデアルカ、戰時利得税モ戰時非常ニ儲ケタ者ヲ課税ノ客體トスル、今回モ非常時局ノ爲ニ儲ケタ者ヲ課税ノ客體トスル、サウ云フ趣旨カラ、内容ノ細カイ點ハ、各所ニ於テ違フコトハ勿論デアルガ、サウ云フ課税ノ客體ヲ見タル場合ノ趣旨ハ同ジデアルカドウカト云フコトヲ伺ヒマス

○高橋國務大臣 其點ニ付テハ變リハナイノデス、時ノ時勢、其時ノ政府ノ施設ト云フ點ハ違フケレドモ、其爲ニ大ニ利益ヲ得テ居ル者カラ税ヲ取ルト云フコトハ變リハナイ

○松村委員 只今甚ダ明快ナ御答辯ヲ得マシテ、其課税客體ニ對スル課税ノ趣旨ハ同ジデアルト云フコトデアリマス、果シテ然ラバ茲ニ租税體系、所得稅體系ノ上ニ於テ大ナル矛盾ガアルノデハナイカト云フ疑ガ起ルノデアリマス、何故ナラバ前ノ戰時利得税ハ數年ニシテ廢止サレ、其後大正九年及大正十五年ニ税制ノ改革ガアリ、殊ニ所得税ニ付テハ超過所得税、第三種個人所得税ノ改正、配當綜合課税等ニ依リマシテ、

所得税ハ稍、一貫シタル體系ヲ具ヘタノデアリマス、ソレ故ニ戰時利得課税ノ趣旨ハ、現行所得税法ニ織込マレタト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○高橋國務大臣 現行所得税ハ、戰時利得税ノ時分ノ法ト今日トハ違ッテ居リマス、御話ノ通り累進率ニナッテ居ル、隨テ例ヘバ公債ノ利子税トカ預金ノ利子税トカ、斯ウ云フモノハ矢張綜合累進率ノ中ニ入ラナイ、特別ノ税ニナッテ居ル、今度ノ税モ矢張特別ノ税ト見テ所得税ノ中ニハ入レナイ、ト云フノハ所得税ノ中ニハ斯ウ云フ戰時ノ爲ニ惠マレタモノ以外ノ收益ガ入ッテ居ル、是ヘ持ッテ行ッテ利得税ト云フモノヲ今日所得税ノ上ニ課シタナラバ、餘程是ハ重イ税法ニナルダラウ、是ハ特別ノ税トシテ、種類ガ違フ、範圍ガ違フ、サウシテ是ハ一時的ノモノデアアルノダカラ、是ハ專ラドウ云フ者ニ課税スルカト云フ其部門ヲ穿鑿シテ見ルト營業部門ニ屬スルモノデアリマス

○松村委員 只今ノ御説明ハ甚ダ不明瞭デアアルコトヲ遺憾ト致シマス、私ハ細目ヲ伺ッテ居リマセヌ、所得税ハ二回ニ互ッテ改正サレ、ソコニ超過所得税モ加ハリ、綜合課税モ加ハリ、即チ戰時利得税ト同ジヤウナ趣旨ヲ以テ、其以後ニ於テ特ニ儲ケテ

居ル者モ、斯ウ云フ各種ノ形ニ於テ所得ヲ取ラレテ居ルノデアルカラ、戰時利得稅法ハナクナツテモ、現行所得稅ノ中ニ織込マレテ居ルノデハナイカ、細目ニ付テハ幾多ノ相違ノアルコトハ勿論デアリマスガ、其精神ノ一部ハ織込マレテ居ルノデハナイカト云フコトヲ伺フノデアリマス

○高橋國務大臣 精神ノ一部分ガ織込マレテ居ルト云フコトハ具體的ニドウ云フコトニナリマスカ

○松村委員 ソレハ例ヘバ、超過所得稅ノ如キ、戰時利得稅ノ時ニハナクツ、ソレガ其後超過所得稅ト云フモノヲ課シテ居ルノデアルカラ、丁度戰時利得ニ依ッテ得タヤウナモノモ、引續イテ斯ノ如キ利得ヲシテ居ル者ガアルナラバ、超過所得ニ依ッテ取ラレト云フガ如キ、其明白ナル一例デアリマス、少クトモ其戰時利得稅ノ精神ノ一部分ハ現行所得稅ノ中ニ織込マレテ居ルト云フコトハ、問答ヲ重ネルマデモナク、學者ノ間、實際家ノ間ニ既ニ定論ニナツテ居ルノデアリマスガ、此點ニ付テモ尙ホ大臣ハ御異論ガゴザイマスカ

○高橋國務大臣 戰時利得稅ヲ課シタカラト云ツテ、ソレガ例ヘバ會社ガ株券ヲ發行シマス、其株券ノ所有者ノ配當ヲ受ケルモノ

ハ其第三種ノ所得稅、是ハ累進率ノ所得稅ヲ受ケル譯ダ、所得稅ハ其方カラ矢張受ケテ居ルトモ言ヒ得ル、ソレカラ其會社ト云フモノハドウカ、其會社ガ若シ、今ノ臨時ノ所得稅ニ依ッテ稅ヲ課セラレル、是ハ會社ハ矢張臨時利得稅——一時ノ利得稅ニ依ッテ、得タ利益ノ一部分ヲ納メル、其納メタアトノモノヲ株主ガ配當ヲ受ケタモノハ所謂一般ノ所得稅ノ累進率ニ依ッテ稅ヲ課ケル、斯ウ云フコトカラ言ヘバ、今ノ此特別ノ景氣ノ下ニ利益ヲ受ケタ營業部門ニ屬スル臨時利得稅ヲ課ケラレタ其事業ガ、例ヘバ會社デアル、其會社ノ株主デアル人ハドウカト云フト、矢張是ハ間接ニハ受ケテ居ルコトニナルノデアル

○石渡政府委員 事務的ノ點モアルカト思ヒマスノデ、私ヨリ御答致シタイト思ヒマス、超過所得稅ガ臨時利得稅ト重複スルニアラズヤ、斯ウ云フ御尋ダラウト思フノデゴザイマス、大正九年ニ戰時利得稅ヲ廢止致シマシテ、其後所得稅ノ改正ヲ行ヒマシタガ、其時ノ所得稅ノ改正ハ、御承知ノ通り配當賞與ノ綜合課稅ト云フモノガ大キナ問題デゴザイマシテ、其改正ニ依ッテ法人ニ付キマシテ超過所得稅ノ創設サレマシタコトハ仰シヤル通りデゴザイマス、併ナガ

ラ超過所得稅ハ平常ノ場合ニ於キマシテ、其資本金ニ對スル利廻ガ或ル一定ノ限度ヲ超シタ場合ニ於キマシテ課稅致シマスル、平素ノ擔稅力ニ應ズル所ノ課稅デゴザイマシテ、今回ノ臨時利得稅、又大正七年ヨリ九年マデ施行致シマシタ戰時利得稅ニ於キマシテハ、其前ノ時期ト比較致シマシテ増加スルト云フ、其増加ノ程度ニ於キマシテ課稅ヲ致スノデアリマシテ、隨ヒマシテ超過所得稅ノ課稅ヲ受ケマシテモ、臨時利得稅ノ課稅ヲ受ケナイモノモゴザイマス、又臨時利得稅ノ課稅ヲ受ケマシテモ超過所得稅ノ課稅ヲ受ケナイモノモゴザイマスノデ、兩者格別重複致スモノトハ見デ居ラナイ次第デゴザイマス

○松村委員 只今政府委員ノ御答辯ハ一應ノ説明デアルガ、半面ノ説明ヲ缺イテ居ル、ナゼナラバ超過所得稅並ニ配當源泉課稅ノ外ニ其時ニハ累進稅ヲ引上ゲラレテ居ル、又一方ニハ戰時利得稅ハ大體「マーデン」ヲ加ヘテ一割二分以上ニハ課シテ居ッタノデアルガ、超過所得稅ハ一割ノ限度トシテ課シテ居ルノデアルカラ、戰時利得稅ヲ課シタル課稅客體ニ對スル考ト、此所得稅改正ノ考トハ、兩者同一デハナイカ、此精神ニ於テハ少クトモ戰時利得稅ヲ取ルト同時ニ、

戰爭ノ時或ハ戰爭ノ時ヲ基礎トシテ段々基礎ノ良クナツタ會社ニ超過所得稅ヲ課シ、更ニ累進稅ヲ課ケルト云フコトハ、即チ戰時利得稅ガ一部分此所得稅ノ中ニ織込マレタト云ウテモ異論ノ餘地ガナイノデハナイカ、今政府委員石渡君モ大體一部分ハ認メラレタヤウデアルガ、織込マレタト云フコトニ付テハ既ニ學者ノ間ニ異論ノナイコトデアルカラ、答辯ヲ要シナイト思フノデアルガ、尙ホ此點ニ付テモウ一遍政府委員ノ御答辯ヲ煩シマス

○石渡政府委員 累進稅率ヲ上ゲタト云フ點ノ御質問ハ個人ノ所得ニ關シマスル累進稅率ノ問題ダト思ヒマスガ、私今此處ニハハッキリシタ文獻ヲ持ッテ居リマセヌガ、其當時ニ於キマシテハ配當賞與ヲ第三種ノ綜合課稅ニ入レマスル關係上、稅收入ニ相當餘裕ガアリマシタノデ、増稅ハ致シマシタガ、累進稅率ハ一般ニ整理致サレマシテ、可ナリ下ノ方ニ於テハ寧ロ下ツテ居ッタト思フノデゴザイマス、新シキ所得ノ財源ヲ持ッテ參リマシタ結果、所得ノ稅率ノ改正ヲ致シマシテ、最高限度ニ於キマシテハ多少ノ引上ヲ見タト思フノデアリマスガ、一般的ニハ寧ロ稅率ハ下ツタモノト存ジテ居リマス、ソレカラ法人ノ超過所得稅ハ成程全體的二御

考ヘニナリマスレバ、ソレハ大正九年ニ戰時利得税ノ廢止ヲサレ、其時ノ配當賞與ノ綜合課税ト同時ニ、法人ニ對シ累進税率ヲ有ツタ所ノ或ル程度ノ超過所得ト云フモノ

ガ置カレタノデアリマスガ、是ハ現在ニ於キマシテハ所得税ノ一部分デアリマシテ、普通ノ場合ニ於キマスル所得ノ擔税力ニ相應スルト云フコトニ相成ルト思フノデゴザイマス、隨ヒマシテ臨時利得税ヲ設ケマシテモ是ガ重複ニナルモノトハ考ヘテ居ラナイヤウナ次第デアリマス

○松村委員 ドウカ問ウタ事ダケ御答願ヒタイ、私ハマダ臨時利得税ノコトヲチットモ聽イテ居ラナイ、臨時利得税ト重複々々ト言ハレルガ、サウ先ヲ怖ガラズニ聽イタ事ダケ御答願ヒタイ、今石渡政府委員ハ擔税力々々々ト言ハレルガ、戰時利得税ト雖モ、臨時利得税ト雖モ、擔税力ヲ考ヘズニ税ヲ課スル、ソナ事ガアツタ税ノ破滅デアルカラ、擔税力ト云フコトヲ以テシテハ此説明ニハナラナイト思フ、問題ハ戰時利得税ガ現在ノ所得税中ニ織込マレテ居ルノデハナйкаト云フコトデアル、是ハ石渡君モ或ル程度マデ認メラレテ居ルノデアリマスカラ、是レ以上質問ヲ重ネル必要ハナイト思フガ、定論ガ既ニアルノデアルケレドモ

一應伺ツタノデス、現行所得税中ニハ全然織込マレテ居ナイノカ、其精神ノ一部ハ織込マレテ居ルノデアルカ、其結論ダケヲ伺ヒマス

○石渡政府委員 超過致シマシタ益金ガ資本金ノ或ル一定ノ利廻以上ノモノニ對シテ課税ヲ致スト云フ方法ニ付キマシテハ、今日ノ所得税ハ其通りデゴザイマス、ソレデアリマスガ、ソコニ一寸差別ガアルト思フノデアリマスガ、詰リ或ル一定ノ期間ニ殖エタト云フ意味ノ戰時利得税ノ趣旨ハ織込マレテ居リマセヌ

○松村委員 大體織込マレテ居ルト云フ根本原則ヲ認メラレタコトデアリマス、アトノ細カイ押問答ヲスレバ理論ハ幾ラモアルガ、ソレハ私ノ方デ敬遠シテ置キマス、必要ノナイコトデアリマス、若シ現行所得税ノ中ニ戰時利得税ノ精神ガ織込マレテ居ルト云フコトデアアルナラバ、更ニ臨時利得税ヲ課スルコトハ、是ハ先程カラアナタガ御心配ニナッデ居ル重複ニナルノデハナйка、此點ニ付キ過般石渡君カラモ、ソレハ重複ニナッデモ酷クナラナイヤウニ、今回ハ累進税率ヲ設ケズニ、一本ノ税率ヲ布イタト云フヤウナ御答辯ガアリマシタガ、此臨時利得税ト現行所得税トノ重複關係ハ如何ニナリ

マスカ

○石渡政府委員 私ノ御説明ノ仕方ガ下手デアリマシテ、私ハ斯ウ申シタ積リナノデゴザイマス、法人ニ付キマシテ或ル一定ノ利廻以上ノモノニ對シテ累進課税ヲ致シテ居ルト云フコトハ、ヤッデ居リマスガ、併ナガラ或ル一定期間ヲ置イテ増シタ其増加部分ト云フモノヲ見テ課セル、此處ガ戰時利得税ニ致シマシテモ、今回ノ臨時利得税ニ致シマシテモ、今度ノ臨時利得税ト超過所得税ト云フモノトハ違フ所ガゴザイマス、隨デ是ハ重複ニナッデ居ルモノトハ思ハナイノデゴザイマス、尙ホ重複ニナッテ居ルカラ税率ヲ比例税ニシタト、斯ウ私ガ申シタト致シマスレバ、ソレハ私ノ言葉ノ至ラナイ所デゴザイマス、此點ハ一方今日超過所得ニモ超過所得税ガアリマシテ、税率ニ累進税率ヲ用ヒテ居ルコトデアリマスカラ、其負擔關係モ考ヘテ、今回ノ臨時利得税ハ比例税ニ致シマシタ、斯ウ申上ゲマス次第デゴザイマス

○松村委員 諺ニ言フニ落チズ語ルニ落チルトカ、只今ノ御話ハ此間他ノ機會ニ説明サレタヤウニ、動モスルト重複ニナル處ガアルカラ、茲ハ累進税ヲ課ケナイト云フヤ

ウナ結論ニナルノデアリマスガ、私ハドウシテモ今回ノ臨時利得税ハ、所得税ト併セテ行フト重複ニナル、臨時ト云フ假面ノ下ニ茲ニ二重課税ヲ強要スルモノデアルト云フコトハ、免レヌ現象デアラウト思フノデアリマスガ、其問題ニ關聯シテ、是ハ税ノ技術上、現行所得税法ノ一割ト云フ超過所得ノ課税標準ヲ多少下ゲル、或ハ累進税率ヲ引上ゲルトカ云フヤウナ、モット理論的ナ、モット原則的ノ方法ニ依ッテ同ジヤウナ、而モ擔税力ヲ基礎トシ、負擔ノ衡平ヲ期スルコトノ出來タ方法ハナカッタノデアルカト云フコトヲ伺フノデアリマス

○石渡政府委員 洵ニ御尤ナ御尋デゴザイマシテ、其點ニ關シマシテハ、此臨時利得税ヲ起ス當時ニ於キマシテ、草案ト致シマシテ色々考ヘテ見タノデゴザイマス、今日ノ超過所得税ノ一割ト云フモノヲ、今日ノ金利等ガ下ッテ居ルナドノ點ヨリ致シマシテ、モット大キク下ゲマシテ、七分ト云フヤウナ點迄引下ゲマシテ、超過所得税ヲ増率シタラバ如何デアラウカト云フヤウナコトモ考ヘテ見タノデゴザイマス、見タノデゴザイマスガ、是ハ矢張超過所得税ト臨時利得税ト根本的ニ精神ヲ異ニスル所ガアリマスノデ、詰リ此時局ノ好影響ニ依ッテ殖エ

タ、増シタト云フ所ノ利益ヲ抑ヘテ行クト云フコトニ致シマスレバ、ドウモ此超過所得稅ノ増率デハ是ガ當嵌ラナイ、此超過所得稅ノ稅率ヲ例ヘバ倍ニ致スト云フコトニ致シマスレバ、或ハ時局ニ依ッテ却テ影響ヲ受ケナイ、儲ケノ減デ居ルト云フ者ニモ矢張重課ヲ致ス、ト云フヤウナ結果ニ相成ルノデ、ソレ等ノ點ヲ考慮致シマシテ、此超過所得稅ノ増率ト云フコトヲ致シマセヌ、寧ロ茲ニ新稅ヲ起シマシテ、増加致シタト云フ所得ヲ標準ト致シマシテ、課稅シテ行クト云フコトガ適當デアラウ、斯ウ考ヘマシタ次第デゴザイマス

○松村委員 ソレハ露骨ニ批評スルナラバ、大藏當局ノ便宜デアル、唯便宜主義デハナイカ、何故ナレバ時局ノ影響々々ト頻リニ言ハレルガ、ドノ程度ガ一體時局ノ影響ニ依ッタノデアルカ、ドノ程度ガ會社自己ノ努力、自己ノ會社經營ノ優秀ナル結果ニ依ッタト云フコトハ、中々區別ガ付クモノデハナイ、大藏當局ハ漫然戰時トカ、臨時トカ、時局ノ好影響トカ、極ク散漫ナ説明ナラバ左様ナコトガ言ヘルガ、嚴格ニ各會社經營ノ内容ヲ檢討スルナラバ、左様ナ漫然タル標準ニ基イテ課稅スルコトガ非常ニ誤リデアルコトハ、是ハ問答スルヨリモ、茲

ニ具體的ノ數字ヲ舉ゲテ御伺シタイ、只今ノヤウナコトデアルナラバ、本稅ヲ施行シタ結果、各種ノ産業ニドウ云フ影響ヲ及ボスカト云フコトヲ、具體的ニ大藏當局ハ豫メ多少ノ御研究ヲ爲サレテ居リマス

○石渡政府委員 此臨時利得稅ハ儲ケノアリマシタ昭和五年、六年當時ニ比較シマシテ、儲ケノアリマスル部分ニ對シテ百分ノ十ノ課稅ヲ致ス、隨ヒマシテ事業界ニハ大シタ影響ヲ及ボスモノニアラズト、斯ウ云フ風ニ大體考ヘテ居リマス

○松村委員 是ハ驚イタ今ノ御答辯デス、政府ガ課稅ヲスルノニ大シタ影響ガナカラウナド、研究モ調査モセズニ漫然斯ウ云フヤウナ稅ヲ課セラレルコトハ、私ハ非常ナ間違デハナイカト思フ、ソレナラバ私ハ具體的ニ茲ニ伺ヒタイ、此稅ノ結果古クカラ基礎ノ固マッテ居ル、例ヘバ紡績會社ト、新興勃興ノ人絹會社トノ間ニ、負擔ノ上ニ非常ノ不公平、非常ノ惡影響ヲ及ボスカト云フコトニ付テ、多少デモ片鱗デモ構ハナイ、研究爲サレテ居リマス

○石渡政府委員 紡績會社ト人絹會社ニ付キマシテ、其負擔ガ如何様ニ相成ッテ居ルカト云フコトニ付テ研究シタカト云フ御尋デゴザイマスガ、多少研究ハ致シマシタ

○松村委員 研究シタナラバドンナ結果ヲ數字上具體的ニ現シテ居ルカ、多少ノ御説明ヲ願ヒタイ

○石渡政府委員 大體ニ於キマシテ、先般御説明致シマシタ利得金額三億五千六百萬圓ト云フノガ、一年ノ平均利得金額ト見テ居リマス、紡績業ハ私ノ方デ見積リマシタノハ約三千八百萬圓、人絹業ガ三千六百萬圓、大體斯ウ云フ風ニ見テ居リマス

○松村委員 今ハ唯利益ノ數字ヲ舉ゲラレタノデアリマス

○石渡政府委員 ソレハ差額デゴザイマス、昭和五、六年當時ト、今後ニ起リマス利益トノ差額、詰リ今回ノ課稅ヲ受ケマス所ノ數字デアリマス

○松村委員 ソレガ非常ナ問題ニナル、私ハ實ハ全國千何百ノ會社ヲ全部細カク調べサシテ見テ居ル、大藏省ヨリモ私ハ細カク調べサシタ結果、今御示シノヤウニ紡績會社ハ利益ノ差額ガ三千八百萬圓デアリ、人絹會社ハ三千六百萬圓ダト云フ差額ダケ舉ゲレバ殆ド同ジデアル、併シソレガ單ニ差額ヲ取ッテ課稅スルカラ非常ナル矛盾ト云フカ、非常ナル暴壓ガ加ハル、私ノ方デ詳シク言フ方ガ早イト思フ、全國ノ大キナ紡績會社ヲハツ取ッテ見ルト、ハツノ紡績會社ノ

資本金ハ二億デアル、積立金ガ一億七千八百萬圓、稍、資本金ニ近イ積立金ヲ有ッテ居ル、合計三億七千八百萬圓ニナル、他方人絹會社ハ大キナモノヲ五ツ取ッテ、現在ノ拂込資本金ハ九千百萬圓、積立金ハ九百萬圓、一割シカナイ、ソレ故ニ紡績會社ト人絹會社ノ積立金ヲ見ルナラバ、紡績會社ハ基礎ハ固ッテ居リ、古ク儲カッテ居ルカラ、之ヲ資本金ト對照シテ、人絹會社ニ比シテ九倍有ッテ居ル、九倍ノ積立金ヲ有ッテ居ルニモ拘ラズ、其利益金ハ兩方同ジ位デアルト云フコトニ依ッテ課稅シマスカラ、ドウ云フ結果ニナルカ、非常ニ諄イヤウダガ、茲ニ大キナモノニ二ヲ拾ッテ見ルト、先ヅ鐘紡ニ就テハ、銷却ヲ引クカ引カヌカニ依ッテ大變違フガ、銷却ヲ引ケバ僅ニ二十六萬二千圓シカ課稅サレナイ、東洋紡ハ十八萬圓ト云フ如キ僅カノ課稅シカ紡績會社ハ受ケナイ、而モ驚クベキ積立金、資本金ヲ有ッテ居ル、之ニ反シテ新シク勃興シタ人絹會社ハドウダト見ルト、倉敷人絹ハ、若シ大藏省ガ此積立金ノ銷却ノ査定ヲ嚴格ニスルナラバ百三十萬圓ノ税金ガ課ル、銷却ヲ今日ノ通り認メルトシテモ五十六萬圓ノ稅ガ課ル、帝國人絹ハ三十四萬八千圓、旭「ベンベルグ」ハ四十六萬圓ノ稅ガ課ル、比較シ

テ御覽ナサイ、斯ノ如キ矛盾ハ殆ドナイデ
ヤアリマセヌカ、紡績會社ハ三億七千八百
萬圓ノ資本金及積立金ヲ有ッテ居ルニモ拘
ラズ、輕イ稅ヲ課ケラレル、東洋紡ノ如キ一
億一千二百萬圓ノ資本金ト積立金ヲ有チ、
僅ニ十八萬圓シカ稅金ガ課ラナイ、之ニ反
シテタツタ資本金ガ千三百六十萬圓デア
倉敷人絹ハ、若シ銷却前ノ査定ニ由ルト百
三十萬圓ノ稅ガ課ル、斯ノ如キ矛盾ガア
ル、紡績會社ハ全國併セテ非常ニ輕イ負擔
デア、人絹會社ハ非常ニ重イ負擔デア
ル、只今ノヤウナ資本金カ見デモ、積立
金カラ見デモ、非常ニ低イ所ノ人絹會社ト
紡績會社トノ間ニ斯ノ如キ驚クベキ矛盾ガ
アルト云フコトヲ御研究ナサレタカ、研究
シテ居ラヌト云フナラバ之ヲ御認メニナル
カ、一應伺ッテ置キマス

○石渡政府委員 一々ノ會社ニ付キマシテ
實ハ此處デ申上ゲルコトハ私ハ差控ヘタイ
ト思フノデゴザイマス、ソレデアリマスガ、
只今御舉ゲニナリマシタ數字デゴザイマス
ガ、一二私共研究致シマシタ所ヲ申上ゲマ
スレバ、倉敷紡績ト云フモノ、儲ハ相當ア
ノ時ニハ多カッタデアリマス、恐クハ是ハ
其當時ニ於ケル所ノ新株ノ賣出シト云フモ
ノガアリマシテ、「プレミヤム」ガ相當其會社

ニ入ッテ居ル成績デハナカラウカト、斯ウ考
ヘテ居リマス、隨ヒマシテ倉敷紡デゴザイ
マスガ、是ガ今後ニ於キマシテ斯様ナ負擔
ヲスルノデハナイノデハナカラウカト、斯
ウ云フ風ナ見方ヲ致シテ居リマス、又只今
鐘紡、ソレカラ東洋紡ト云フモノ、負擔ニ
付キマシテノ御話ガゴザイマシタガ、是ハ
私共ノ方ノ計算デハ必シモ御話ノ通りノ數
字ニハナラナイノデゴザイマス、是ハ全ク
御無理ノナイコトデアリマシテ、私共ノ數
字ハ課稅ノ基礎ニナル數字デアリマスノデ、
モット多少多イ數字ヲ示シテ居リマスガ、併
シ根本ニ於キマシテアナタノ御議論ガ、積
立金ノ多イ會社ニ付テハ負擔ハ輕イ、斯ウ
仰シヤルコトハ、詰リ法律ノ建前ガ其運轉
資本ニ對スル利廻ト云フモノヲ見テ居ルノ
デゴザイマスカラ、隨テ拂込濟ノ資本金、
積立金ト云フモノ、合計額ニ對スル利廻ガ
多イモノニ付キマシテハ、餘計ニ稅金ヲ負
擔スル、詰リ昭和五年六年ニ比較シテ餘計
ニ儲ガ多ク出ル、利廻ガ多ク出ル、斯ウ云
フコトニ相成ルノデアリマシテ、サウ云フ
傾向ハ本稅ニ於キマシテハ免レナイ傾向ダ
ト、斯ウ見テ居リマス

○松村委員 私ハ此位努力ヲ拂ッテ拵ヘタ
ノダ、私ハ大藏省ノ數字ヨリモ可ナリ正確

ナ數字ダラウト確信シテ居ル、一ツ々々ニ
付テ私ハ責任ヲ有ッテ居ル、ドウカ其一ツ一
ツニ付テ大變違フナドト云フ一時的ノ説明
デナク——大局上私ノ質問シタ趣旨ヲ認メ
ラレタヤウダ、併シソレハ傾向ナドト云フ
漫然タルモノデアアリマセヌゾ、人絹會社
ト紡績會社ノ間ニ、苟モ少シデモ會社ヲ研
究スレバ分ル、紡績會社ハ銷却ハ既ニ十分
行ハレテ居ル、而シテ多數ノ積立金ヲ有ッテ
居ル、利益ハ多イケレドモ、之ヲ平均スレ
バ今ノヤウナ結果ニナルニモ拘ラズ、人絹
會社ハ新興ノ會社デアルカラ、利益ハ非常
ニ多イガ、併シ會社ノ基礎ハ尙ホ薄弱デア
ル、今後幾多ノ競争モ考ヘナケレバナラ
ヌ、斯ウ云フ新興會社デアルカラ、此二ツ
ノ只今ノヤウナ資本金ト積立金ノ違フ會社
ヲ比較シテ見ルト、同ジヤウニ利益ガ出テ
居ル、ソレナラバ新興、勃興會社ニ對シテ
ハ、大藏省ハ課稅ノ比率ニ付テ如何ナル積
立金及銷却金ヲ認メラレル考デアリマス
カ

○石渡政府委員 銷却ノ問題ニ付キマシテ
ハ、大藏省ニ於キマシテ一定ノ内規ヲ有ッテ
居リマシテ、全國一律ニ此内規ニ依ッテ認
否ヲ決定致シテ居リマス

ニ怪シイ、是ガ抑、魔物ナンド、一定ノ基準
ト云フガ、私共長ク二十年間モ會社經營ヲ
ヤッタコトガアルガ、東京ト横濱ノ稅務署ノ
課稅、殊ニ銷却ノコトガ根本的ニ違フ、東
京デ認メラレテ居ルコトモ、横濱ノ稅務署
デハ全然否認シテ居ルト云フコトハ、是ハ
實際上ノ矛盾デアルガ、左様ナコトハ別ト
シテ、斯様ナ新興會社ニ對シテ、大藏省ハ
内規ト云フケレドモ、新興勃興會社ハ機械
モ新シク、早ク銷却シテシマハナケレバナ
ラヌノダガ、サウ云フヤウナ事業ノ根本的
ノ性質ニ鑑ミラレテ、紡績ト人絹トノ間ニ、
銷却ヲ別ニハッキリ考ヘテ居ルカドウカ、其
點ヲ伺ヒタイ

○石渡政府委員 御尤ナ御尋デアリマシ
テ、人絹會社ノ機械、器具、建物ト云フヤウ
ナモノニ關シマシテ、ドウモ大藏省デ認メ
テ居ル所ノ銷却ノ年數ガ長過ギル、之ヲモッ
ト短縮スルノ必要ガアルト云フコトデアリ
マシテ、數年前ヨリ致シマシテ、屢、各人
絹會社カラ其要求ヲ受ケタコトガゴザイマ
ス、隨ヒマシテ大藏省ト致シマシテモ、一
應全國ノ各稅務署ニ命ジマシテ其内容ヲ調
査シテ見タノデゴザイマス、昨年其數字ガ
集リマシテ色々調査致シテ見マシタガ、各
人絹會社ニ於キマシテハ、今日稅務署ノ認

メテ居リマスル限度迄銷却ヲ致シマスニハ、マダ餘程開キガアツタサウデ、詰リ稅務署ノ認メテ居リマス限度迄モ銷却シテ居ラヌト云フ狀態ノ會社ガ大多數デアリマシタノデ、此問題ハ將來ノ問題ト致シマシテ十分考究致シタイト存ジテ居リマスガ、其當時ニ於キマシテ、是ハ今少シク考究ノ餘地ガアルノデハナイカト云フコトデ、今日トシテハ改正サレテ居リマセヌ、ソレデゴザイマスガ、此問題ニ付キマシテハ、將來十分研究致シテ見タイト、斯ウ存ジテ居リマス

○松村委員 ドウカ斯ウ云フコトハ御互ニ非常ニ重大ナル結果ヲ持來タスガ故ニ、其場限リノ答辯デナク願ヒタイ、今ノヤウナ御答辯ハ是ハ實際者ニ非常ナ大問題ヲ惹起ス、何故カト云フト、今ノ政府委員ノ答辯ハ、實際ヲ知ラナイカラ左様ナ答辯ヲシテ居ル、ソシテ馬鹿氣タコトガアルモノデハナイ、人絹會社ハドンナ銷却ヲシテ居ルカ、參考ノ爲ニ讀上ゲマス、帝國人絹ハ四百五十萬圓ノ銷却ヲシテ居ル、是ハ是近一箇年間ノモノデ、千百八十萬圓ノ利益ニ對シテ四百五十萬圓ノ銷却ヲシテ居ル、旭「ペンベルグ」ハ千七十萬圓ノ利益ニ對シテ六百八十萬圓ノ銷却ヲシテ居ル、銷却ノ方ガ

多イノデスゾ、斯ウ云フ事實カラ致シマシテ、現在ノ人絹會社ノ銷却ガ大藏省ノ標準ニ達シナイナンゾト漫然タル説明ヲサレルナラバ、稅務——課稅ノ上ニ於テ、左様ナ大キナ銷却ヲシテモ、大藏省ハ認メタイト云フ結論ニ達スルノデハナイカ、私ハ其方ヲ心配シテ居ルノデアアルガ、御答辯ハ逆ナ説明ニナッテ居ル、繰返シテ伺フガ、現在ノ人絹會社ハ大藏省ノ標準迄銷却シテ居ラヌト云フヤウナ事實ヲ明確ニ御答辯ニナリマスカ

○石渡政府委員 私ハ決シテ出鱈目ノコトヲ申シテ居ルノデハアリマセヌ、率直ニ申上ゲテ居ル積リデゴザイマスカラ、其點ハドウゾ左様御了承ヲ願ヒタイ、其問題ニ付キマシテハ、只今モ申シマシタ通り、昨年ト私ハ申シマシタ、私ハ昨年ダト覺エテ居ルノデゴザイマスガ、調査致シマシタ結果ガ、尙ホ今日既ニ其認メテ居ル所ノ銷却ノ程度迄モ達シナイモノガ極メテ多カッタト、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ居ル積リデゴザイマス、今色々數字ヲ擧ゲテ御話デゴザイマスガ、ソレハ今日政府ノ扱ト致シマシテハ、過去ニ於キマシテ銷却ヲシ切レナカタ分ニ付キマシテハ、今期ニ於テ其分ヲ銷却致スコトモ認メテ居ルノデゴザイマス、隨ヒマシテ今日迄日本ノ人絹會社ニ、古キ

當時ニ於キマシテ銷却シ切レナカッタ、其銷却ノ殘ト云フモノガ相當ニ殘ッテ居リマスノデ、隨ヒマシテ大キナ銷却ヲ致シテ行キマシテモ、尙ホ政府ノ認メル所ノ程度ニ達シタイト云フモノガ相當ニアルノデゴザイマス、併ナガラ今後ニ於キマシテハ仰ッシャル通り、今日ノヤウナ非常ナ好況ガ一二年續イテ行キマスレバ、或ハ今後ニ於ケル問題ト致シマシテハ、相當眞劍ナ問題ニ相成ルカト思フノデゴザイマスカラ、今後ノ問題ト致シマシテハ十分考究致シタイト、斯ウ申上ゲテ居ルノデゴザイマス

○松村委員 大キナ問題ガ殘ッテ居ルカラ、細イ押問答ハシタクナイガ、今ノヤウナ答辯ハ非常ニ困ル、過去ニ於テ銷却シ切レナイモノガアルト云フヤウナコトハ、ソシテコトハ非常ニボロ會社ノ、銷却モ十分出來ナカッタヤウナ會社ノ話ヲシテ居ルノデ、人絹會社ノ話ニハ當倅ラナイ、ボロ會社ノ話デ、此際ノ話ニハ適應シマセヌ、私ハ是レ以上伺ハナイノデアリマスガ、此新興、勃興會社ト、ソレカラ基礎ノ固ッテ居ル所ノ、萬年景氣會社ト云フヤウナモノ、例ヲ、唯一ツノ紡績、或ハ人絹會社ニ取ッテ見テサヘモ、斯ノ如キ非常ナル不公平デアアル、擔稅能力ノ點カラ言ウテモ、負擔ノ點カラ

言ウテモ非常ナ不公平デアアル、又モウ一ツ考ヘナケレバナラヌコトハ、紡績會社ハ人絹ヲ兼營シテ居ル、兼營シテ居ルカラ、一方デ紡績、人絹ヲ兼營シテ居ル會社ハ負擔ガ輕クテ、人絹ノミヲヤッテ居ル會社ハ、斯ノ如キ非常ナ抑壓ヲ受ケルト云フ結果ニナルノダガ、斯ノ如キ問題ハ御認メニナリマスカ、認メラレルナラバドウ調節サレルデアアルカ、其點ニ付テ伺ヒタイ

○石渡政府委員 昭和五年、六年當時ノ、其資本金積立金ト云フモノヲ運轉致シマシテ、儲ケタ所ノ其儲、ソレカラ今後ニ於ケル資本金、積立金ト云フモノヲ運轉シテノ儲、ソレヲ比較シテ其差額ニ付テ見テ行クノデアリマスカラ、隨ヒマシテ運轉シテ居ル資本金ノ大キナモノハ、大體ニ於キマシテ儲ハ大キイト思フノデゴザイマス、併ナガラ其儲ノ小サイ場合ニ於キマシテハ負擔ハ少クナル、是ハ本稅ノ趣旨カラ致シマシテサウ云フコトニ相成ルト思フノデゴザイマシテ、其間ニ格別不公平ガアルト云フコトヲ認メル譯ニハ行カナイト思ヒマス

○松村委員 紡績其他人絹ノ比較ニ付テハ明白デアアルカラ、是レ以上必要ナイト思フ、紡績會社ニ人絹部ヲ分ケテ課稅スレバ兎モ角モ、サウデナイ以上ハ課稅比率ガ不

公平ニナルト云フコトハ、如何ナル方法ハ以テシテモ緩和出來ナイ、調節出來ナイ、一ツノ例ニ唯舉ゲタノデアリマス

然ラバ次ノ質問ニ入ル、今マデ苦心慘澹シテ資本ヲ切下ゲ、辛ウジテ整理シタ眞面目ナ會社ニ對シテ、一體課税ノ上ニ於テ多少ノ手心力、或ハソレヲ多少參酌サレノデアルカ、從來ノ如クソレハ實際不可能デアルカ伺ヒマス

○石渡政府委員 減資ヲ致シマシテ、サウシテ會社ガ小サクナッテ居ル、其時ニ其儲ラ見テ行ク、斯ウ云フコトハ、ドウモ現狀ニ於キマシテ其小サクナッタ所ノ資本ト云フモノヲ見テ行クヨリ外ニ、行キ様ガナイト、斯ウ存ジテ居リマス

○松村委員 ソレデアルカラ非常ナル不公平ノ結果ヲ來スト云フコトニナル、私ハ實例ヲ舉ゲテ言フ方ガ早イ、特殊ノ會社ヲ舉ゲルノデハナイ、減資ヲシタ會社ヲ皆表ニ拵ヘテ見タ、其二三ノ例ヲ舉ゲテ見ルト、芝浦製作所ハ、丁度昭和六年ノ五月ニ半額減資シテ、二千萬圓ヲ一千萬圓ニシタ、暫ク赤字デアッテ、昭和八年下期ヨリ辛ウジテ少シノ配當ガ出來ルヤウニナッテ、暫ク形勢ガ良クナッタ、私ハ個々ノ會社ヲ舉ゲテハ甚ダ惡イカモ知レナイガ、實際ダカラハ仕

方ガナイ、而モ左様ニ減資シテ、漸ク命脈ヲ維持シヨウトスル時、今度ノ課税ニ依ルト、直ニ一舉十四萬七千圓ノ税ガ課ル、是ハ芝浦デアアル、富士電機會社ト云フノハ、一千萬圓ノ會社ダガ、大正十二年カラ滿七箇年間赤字ガ百三十五萬圓、七箇年間一遍モ儲カラナイ、十何年間、今日マデ苦心シテ、マダ配當ガ出來ズニ、漸ク來年上期カラ配當ガ多少出來ルヤウニ根本整理サレタ會社デアルガ、此計算ニ依ルト、今マデ十何

年間苦心慘澹シテ、赤字ダラケノ會社ガ、初メテ配當スル、其最初ニ七萬五千圓ノ税ガ課ル、斯ウ云フヤウナ例ヲ澤山舉ゲテ見ルト、減資シタ會社ハ皆苦心慘澹シテ此難局ヲ切抜イテ來テ、サウシテ中ニハ十分ノ一ニモ減資シタ所ノ瓦斯電工、大阪製鐵ノヤウナ會社ガ全國ニハ澤山アル、苦心慘澹シテ減資ヲシ、整理シタ會社ガ、今回ノ課税ニ依ルト、漸ク息ヲ吹クト云フ所ニ頭カラ直ニ税ガ課ルト云フヤウナコトハ、一體擔税力ノ負擔カラ見マシテモ、租税ノ公平ナ原則カラ見テモ、不公平ダトハ御考ニナリマセヌカ

○石渡政府委員 此租税ノ負擔ノ問題デゴザイマスルガ、是ハ既往ノ事情ヲ考ヘ、其會社ノ成立ヲ考ヘマシテ、色々考慮致スト云フコトニナリマス、甚ダ是ハ容易デナイノデゴザイマシテ、ドウ致シマシテモ現在ノ擔税力ニ適應セシムベシト云フ所カラ出發シテ行カナケレバ、實行上ムツカシイト思フノデゴザイマス、隨ヒマシテ本税ノ課税ニ當リマシテモ、元其會社ガ減資ヲシタカドウカト云フコトノ事情ハ、之ヲ考慮スル譯ニハ行カヌト思フノデアリマス、但シ其減資會社ガ其當時非常ニ儲ノ少カッタ、損ヲシテ居ルト云フモノニ付キマシテハ、

是ハ七分ノ利益ト云フモノヲ見テ行クノデゴザイマスノデ、其點ニ於キマシテ大分緩和サレル所ハアルト思フノデゴザイマス、又減資ヲ致シマシタ所デモ、其減資會社ノ株主ノ爲ニ行ハレルト云フコトガ、普通ノ場合カト思フノデゴザイマスガ、併ナガラ此株主ハ時々變ルコトガ多イノデゴザイマシテ、既往ノ株主ト云フモノニ付キマシテ今日ノ會社ノ株主ト變テ居リマス場合ニ於キマシテモ、之ヲ課税上考慮ヲ拂フト云フコトハムツカシイノデハナカラウカト、思ッテ居ルヤウナ次第デアリマス

○松村委員 ドウモ政府委員ノ答辯ハ、殆ド實際ノコトヲ知ラヌヤウナ答辯デアアル、既往ノ事實ヲ構ハナイト言ッテ居ラレル、サウ云フ亂暴ナ議論ガアリマスカ、サウ云フ

議論ナラバ何故昭和五六年ヲ標準ニシテ七分ト決メラレルカ、既往ノ事實ヲ構フカラ、既往ノ事實ヲ一番根本原則ニ置ケカラ、此課税ガ出來タノデハナイカ、既往ノ事實ハ構ハヌ、現在ノ擔税力ダケデアルト云フ、ソレナラバ此税ハ根本カラ無茶苦茶ナ課税ニナッテシマフ、既往ノ事實ヲ構ハズニ、ドウシテ課税ガ出來ルカ、又緩和スルト頻リニ言フガ、ドウ云フ方法ヲ以テ緩和スルカ、私ハ今舉ゲタ例言ッテ居ル、折角

苦心慘澹シテ、十箇年間モ或ハ減資ヲシ、或ハ赤字ヲ漸ク緩和シテ、辛ウジテ息ヲツカウト云フ會社ニ直ニ臨時税ガ課ルノハ何處カラ來ルカ、既往ノ事實ニ關スル所ノ研究ガ粗漏デアアル、是ハ後カラ申上ゲマスカ、昭和五六年ト云フ基礎ノ數字ヲ七分ト取ル所ニ、此處ニ無理ガアルト云フヤウナコトモ一ツノ大キナ原因デアアル、斯ウ云フ事實ニ拘ラズ、既往ノ事實ヲ構ハナイト云フ議論ハ自家撞著デアアル、株主ガ變ルカドウカ、ソレハ末節ノ話デ、本論トハ何ノ關係ハナイ、左様ナコトハ本論ニ關係ナイコトデアアルカラ伺フ必要ハナイ、兎モ角斯ウ云フヤウナ會社ニハ非常ナ無理ガアルト思フノデアアルガ、モウ一ツ伺ッテ置キタイノハ、

法人相互間ニ此頃持株會社ガ多イガ、此所

第六類第一號 昭和十年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外一件委員會會議錄 第十回 昭和十年二月十六日

得税ト超過所得税方既ニ法人持株ノ上ニ於テ重複スル處ガアルノデアルガ、今度ノ臨時利得税ハ法人持株ノ上ニ於テ又重複課税ニナル處ナキヤ

○石渡政府委員 持株會社ト申シマシテモ、是ハ普通ノ法人デゴザイマスノデ、此點ハ今日ニ於キマスト同様、格別區別シテ課税スル積リデハアリマセヌ

○松村委員 ソレハ持株會社ガ株ヲ持ッテ居ルノデアルカラ、ソレガ各種ノ形ニ於テ變ルノデアルカラ、過去ノ戰時利得税ニ於テモ重複シタノデアルカラ、今度ノ臨時利得税ニ於テモ重複スルト云フコトハイロハノ問題デアルガ、ソレヲモ御否定ナサイマスカ

○石渡政府委員 會社ノ所得ノ計算ニ付キマシテハ、其モノガ配當デアラウト利子デアリマセウト、其會社ニ入ッテ來マス所ノ所得デアリマス以上、其源泉ヲ區別シテ居リマセヌカラ、從ヒマシテ其會社ノ儲ノ多イ場合ニ於キマシテハ、他會社ノ配當ニ向ヒマシテモ課税スルノハ、已ムヲ得ナイモノト存ジマス

○松村委員 只今重複ヲハッキリ御認メニナッタガ、カルガ故ニ外國デヤッテ居ルガ如クニ持株配當ノ重複課税ヲ控除スルコトガ

妥當デハナイカ

○石渡政府委員 是ハ只今松村サンノ仰シヤルコトハ、寧ロ一般所得税ノ改正ノ問題デアラウカト思フノデゴザイマス、之ヲ控除致スノモゴザイマス、又控除致サナイ點モゴザイマス、各其ヤリ方ニ依リマシテ異ル所ガアルダラウト思ヒマス

○松村委員 只今ノ問答ノ結果、大藏大臣ノ御答辯ヲ御面倒デモ煩シマス、大體今政府委員ト問答シタル所ニ依リマシテ、本税ハ課税ノ目的趣旨ガ不明瞭デアル結果、非常ニ擔税力、負擔ノ公正ノ上ニ於テ非常ナル疑問ヲ起シテ居ル實例ニ付テ、一二ノ例ヲ唯舉ゲタノデアルガ、基礎ノ固マッテ居ル萬年會社ト新興勃興ノ會社トノ間ニ於ケル著シイ不公平ナル課税、過去ニ減資整理サレタル會社ニ對スル關係ヲ毫モ認メザル不公平ナル重税、又法人相互間ノ配當、持株會社ニ於ケル重複、斯ノ如キ二三ノ例ヲ舉ゲマシテモ、此税ガ非常ニ公正ノ原則、課税ノ根本原則ヲ缺イテ居ルト云フ結論ニナッタノデアリマスガ、大藏大臣ノ御考ハ如何デアリマスカ

○高橋國務大臣 課税ノ公正ノコトニ付キマシテハ、私ヨリアナタヤ政府委員ノ方ガ御承知ノヤウデ、私ハ其方ハ不得手デア

リマス、私ニ御聽ニナッテモ政府委員以上ノ答辯ハ出來マセヌ

○松村委員 大藏大臣ハ、政府委員以上ノ答辯ハ出來ナイト云フ御話デアルガ、只今ノ問答ニ依リマシテ、政府委員ノ答辯ノ矛盾シテ居ルト云フコトヲ、當然御肯定爲サルト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○高橋國務大臣 是モ能ク研究シテ見ナイト、矛盾シテ居ルカ居ナイカハ分ラヌ、私素人考デ見マス、アナタノ言フノニハ、大體伺ッテ居ルト云フト、紡績會社ハ人絹モ含マレテ居リ、基礎ガ鞏固ニナッテ、積立金モ資本金同様位アル、人絹會社ハ割合ニ新シイ會社デアッテ、而シテ中ニハ會社ニ依ッテハ此間マデ赤字デ苦シンデ減資シテ來タモノガ、ソレガ漸ク生返ッテ來テ、配當モ少し出來ルヤウニナッタ、斯ウ云フモノニ稅ヲ課スルノハ不公平ダ、斯ウ云フコトニ歸著スルヤウニ思ハレルケレドモ、此臨時利得税ノ目的ト云フモノガ、特別ノ此經濟ノ狀況ニ依ッテ惠マレテ居ル會社ノ利益ニ課ケル、斯ウ云フノガ目的デアル、此好景氣ニ依ッテ蘇ッテ居ル、或ハ益、利益ヲ多クシテ居ルト云フモノハ先ヅ製鐵業其他ノ主ニ軍需品ニ關係シタモノガ多イト思ハレル、好景氣ト云フモノガソレデハ何カラ來タ、度々

諸君モ言ハレル通り、是ハ軍需工業ト云フモノガ一番目立ッ、即チ政府ガ赤字公債ヲ出シテ得タ金デ以テ此軍事費ハ大變多クナッテ居ル、其使ヒ拂ヒノ結果ハ自然ト其關係ノ産業ヲ盛ニシテ來タ、今數年赤字デ苦シンデ居ッタモノガ回復シテ來タ、回復シテ來タノハ、即チ此特別ノ好景氣ノ惠ニ與ッタモノデアル、若シ此好景氣ガナカッタナラバ、其赤字デ苦シンデ居ッタ會社ハドウナッタカ分ラヌ、或ハ潰レテ居ルカモ知ラヌ、過去ノコトヲ考ヘルナラバ、ソコマデモ矢張考ヘテ行カナケレバ公平ノ判斷ハ出來ナカラウ、是ハ私ノ素人考、ソレ以上ドウモ私ニハ物ガ言ヘナイ

○松村委員 ドウモ大藏大臣ハ巧妙ニ「カムフラージ」サレマスガ、併シ大體御認メナッテ居ルヤウナ御口吻デアルガ、今非常ニ御話ノ中デ矛盾シテ居ルト思フコトハ、私ノ先程カラ伺ッテ居ル通り、成程好景氣ハ軍事費其他ニ關係ガアルガ、紡績會社ハ併セテ人絹ヲ大ニ行ッテ居ル、人絹會社モ共ニ同ジ惠ヲ受ケテ居ルガ、課税ノ方法ガ拙劣デアル爲ニ、一方ニハ非常ニ驚クベキ重税ヲ課シ、他方ニハ甚ダ輕微ナル負擔デアルト云フコトハ——是デモ已ムヲ得ナイト云フヤウナ漫然タル御話ナラバ、是ハ仕方ガア

リマセヌガ、今大藏大臣ノ言ハレルコトデハ、私ノ申上ゲタコトニ對スル答辯ニナッテ居ラヌノデアリマス、其點ハ大體ハキリト御肯定ヲ願ヒタイノデアリマス

○高橋國務大臣 無論答辯ニナッテ居ラヌト云フコトハ私ハ認メテ居リマス、アナタガ御満足ニナルヤウナ答辯ハ出來マセヌ、唯併シ臨時利得稅ハ資本其他ノ積立金等ニ對シテノ利廻ト云フコトニ重キヲ置イテ居ルノデ、サウ云フコトモ併セテ考ヘナケレバナルマイ、私ハ素人デアリマス、ソレダカラドウモ是デモイカヌ、是デモイカヌト言フテ責メテ見レバ、完全ナモノハ恐ラク出來ナイダラウト思フ、大抵ノ所デ我慢シナケレバ仕方ガナイト思ヒマス

○松村委員 是レ以上問答無益ダト思ヒマスガ、大抵ノ所デ我慢セヨ、私モ大抵ノ所デ我慢シタイト思ヒマスガ、餘リニ不公平ダ、又不公平ナノガ當リ前ダト云フコトハ馬鹿々々シイ、殆ド課稅ノ原則ヲ無視シテ居ルヤウナ、斯ノ如キ暴論ガアルカラ、ソコデ大藏當局ノ一應ノ御説明ヲ伺ッタノデアルガ、遂ニ要領好キ説明ヲ得ナイ、是ハ大體非常ニ不公平デアル、非常ニ公正ヲ缺イテ居ルト云フ結論ニナッタノデアリマス、ソコデ大藏大臣ニ伺ヒマスガ、一體此増稅

ト云フモノハ稅制整理ト不可分ノモノデハナイカト思フノデアリマスガ、如何デアリマスカ

○高橋國務大臣 稅制整理ト云フノハ、一般ノ稅制整理ト私ハ解釋シマスガ、是トハ不可分デハナイノデス、稅制整理ヲスル時分ニハ恐ラク此臨時利得稅ハ廢メラレルデセウ

○松村委員 私ノ伺ッタノハ其意味デアリマス、詰リ不可分ト云フコトハ稅制整理ヲヤルマデ已ムヲ得ザル一時的ノ彌縫的ノ策デアル、ソレダカラ一時的ノ彌縫的ノ策シテ之ヲヤルナラバ、速ニ稅制整理ヲヤッテ之ヲ廢メナケレバナラヌ、只今申上ゲタヤウニ是ハ不可分ノ増稅デアル、サウスルト是ハ總理其他大藏大臣ノ今日迄ノ御話デハ、何カ所謂國策審議會トカ云フモノヲ拵ヘテ、サウシテソレマデト云フ意味ノヤウニモ取レルシ、當分々々ト言ウテ居ラレマスガ、曩ニ大藏當局ノ非公式ノ説明デハ、三年乃至五年ト言ウテ居ラレマスルガ、稅制整理ト云フノハ何時大體完了スルト云フ見透シハハッキリ付カナイニシテモ、大體國策審議會ヲ拵ヘタナラバ、此稅制整理ト此本稅ノ整理ト云フコトニ付キマシテハ、サウ三年モ五年モ、或ハ更ニ長イ、何時廢メル

カ分ラヌト云フヤウナ性質ノモノデアルカドウカ伺ヒマス

○高橋國務大臣 サウ何時マデ掛ルカ分ラスト云フヤウナ問題デヤナイノデス、政府ハ急イデ居ル、但シ此稅制整理ト云フコトヲ一般のニ考ヘル場合ニ於テハ、一方ニ於テハ又國內ハ無論、國際間ノ關係等モ狀況ヲ能ク考察シテ行カナケレバナラヌ、其處等モ併セテ考ヘテ、此稅制整理ト云フモノハ今日考ヘナケレバナラヌ場合ニナッテ居ルト思フノデス、稅制整理ノ一面ニ於テハ財政ヲ健全ニスルト云フコトモ、目的ノ中ニ無論含マレテ居ナケレバナラヌ、ソレニ付テハ軍事費ナドト云フコトニ付テモ、凡ソノ見透ガ付クト云フ必要ガアル、併シ兎ニ角屢言ハレル所ノ國策審議會、是ハ吾々ノ所デハ是非早ク一ツ起シタイ、或ハ此議會ニ追加豫算モ出シタイト考ヘテ精々今研究シテ其仕度ヲシテ居ル所デアリマス

○松村委員 只今ノ御答辯ダト非常ニ不明瞭ニナッテ來ル、國策審議會ハ議會ノ協賛ヲ經レバ早ク出來ルシイケレドモ、軍事費ノ見透ガ付カナケレバ稅制整理ハ難シイト言フガ、陸海軍大臣ハ軍事費ノ見透ハ當分付カナイ——少クトモ何時頃ニナッタナラバ一體見透ガ付クカト云フコトヲ明確ニ

御答ニナッテ居ラナイ、若シ果シテソレガ事實ナラバ、軍事費ノ見透ガ付ク時ニ稅制整理ヲヤルト云フコトハ、何時ノコトカ、百年河清ヲ俟ツガ如キ感ガアルノデアリマス、此點ニ關シマシテ大藏大臣竝ニ總理大臣ノ別々ノ御所見ヲ伺ヒマス

○高橋國務大臣 其見透ガ付カナケレバイカヌトサウハハッキリ言フ譯デハナイ、凡ソ稅制ヲ審議スルニ於テハ、サウ云フコトモ考ヘテ置カナケレバナラヌ、其時ニ見透ガ付クカ付カヌカト云フコトハ、是ハ其時ノ委員ノ頭ニアルコトデ、私ノ頭ニハ無イ

○松村委員 軍部兩大臣ニ簡單ニ伺ヒマスルガ、軍事費ノ見透ガ近キ將來ニ付クト云フ御見込デアリマスカ

○林國務大臣 陸軍ノ方面ニ於キマシテハ、先日モ御話シマシタ通りニ、近キ將來ニ於テ現在ノ額ヨリモ大ニ減少スルト云フ見込ハ立タナイ、斯ウ云フ考デアリマス

○大角國務大臣 此豫算委員會デモ御答致シタト思フノデアリマスルガ、昭和十一年度ハ昭和十年度ヨリ、現在實行中ノ計畫ヲ其儘繼續致シマスルト若干増加ノ傾向ガアル、斯ウ云フコトヲ申上ゲデアリマス、而シテソレカラ先ノコトハ目下懸案ニナッテ居ル所ノ軍縮會議、ソレガ決著ヲ見ル迄ハ

ハッキリト申スコトハ出來マセヌ、若シ幸ニシテ吾々ノ主張ガ通りマスルナラバ、海軍費ハ相當ノ減額ガ出來ルト思フノデアリマスガ、相手ノアルコトデアリマスルカラ、今直チニ其程度ヲ明言スルコトハ出來ナイノデアリマス

○松村委員 只今軍部兩大臣ノ御話ニ依リマス、陸軍大臣ハ近キ將來ニハ見透ハマダ付カヌ、海軍大臣ハ昭和十一年度ハ尙ホ多少増シテ、サウシテ目下ノ軍縮會議ガ決ラナケレバ是モ見透ガ付カナイ、要スルニ陸海軍共軍事費ノ見透ハ近キ將來ハ付カヌト云フ御答辯デアリマスルガ、サウ云フ見透ノ下ニ稅制整理ハ一體出來ルト御考デアリマスカ

○高橋國務大臣 見透ガ付カナケレバ、付カナイデ稅制整理ハ出來マス

○松村委員 甚ダ大藏大臣ニ似合ハシカラヌ御答辯デ、先程ハ稅制整理ヲヤルノニハ、軍事費ノ見透ガ付カナケレバナラヌト云フ、今ハ付カナケレバ付カヌデモヤルレト云フ御答デアリマシタガ、左様ナコトデ私ハ稅制整理ハ出來ナイデハナイカト思フ、各國ガ稅制整理ヲヤッタ沿革歴史ヲ見マシテモ、一千九百三十一年ノ英國ノ稅

制整理、之ヲ三十四年ニ復活シタ經過、其外各國ノ稅制整理ノ跡ヲ見マシテモ、稅制整理ト云フモノハ一方デ増稅ヲヤリ、一方デ官吏減俸其他有ユルコトヲ各國デヤッテ居ルノデアルカラ、少クトモ國費ノ過半ヲ占ムル軍事費ノ見透ガ付カナケレバ稅制整理ハ出來ヌト思ヒマスガ、見透ガ出來ナケレバ出來ナイデ、ヤルト云フ御話デアリマスガ、是ハドウモ大藏大臣ノ御答辯ニモ似合ハシカラヌコト、思フノデアリマス、是レ以上ノ事ヲ繰返シテモ無益デアリマスカラ、此程度ニ止メテ置キマス

○高橋國務大臣 私御斷リ申シテ置キマスガ、言葉尻ヲ取ッテ責メルコトハ止メテ下サイ、私ハ話ガ下手ナンデス、私ハ稅制整理ニ付テ委員ガ考ヘルベキコトヲ言ッタノデ、稅制ヲ整理スルト云フ其委員トナッテ考ヘル人ハ、軍事費ノコトヤ何カヲ考ヘズニ稅制整理ハ出來ナイ、考ノ中ニ入レテ置カナケレバナラヌト云フコトヲ言ッタノデアリマス、軍事費ノ見透ガ付カナケレバ稅制整理ハ出來ナイト云フ意味デ言ッタノデハナイ

○松村委員 此問題ハ是レ以上御伺ヲシテモ意見ノ相違デアリマスルカラ止メテ置キマス、尙ホ此際稅制整理ノ一ツノ大キナ項

目トシテ、昨日カ一昨日カモ民政黨ノ後藤君カラ質疑ガアリマシタ際ニ、大藏大臣ハ五分利公債借換ハ當分出來ナイ、又難シイト云フコトヲ頻ニ強調サレマシタガ、私ハ此問題ニ付テ簡單ニ二三ノ項目ヲ擧ゲテ所見ヲ伺ヒマスルガ、一體稅制整理ト云フ上カラ申シマスナラバ、五分利公債ノ借換ハ進ンデ斷行シナケレバナラヌノデハナイカ、其理由ハ一體今日既ニ四分利公債ヲ盛ニ出シテ居ルバカリデナク、民間ノ社債デモ一寸良イ會社ナラ四分三厘「バー」ノ社債ガ募集サレテ居ル、又五分利ノ現在ノ公債ハ七十何億アルケレドモ、其中民間銀行ノ有ッテ居ルモノハ段々殖エテ、四割七八分ニ當ッテ居リマスルガ、日本銀行、特殊銀行ノ所有ヲ合セマスルト云フト約十億近ク、尙ホ大藏省預金部ノ所有ハ五分利公債ノ三分ノ一ヲ占メテ居ルノデアルカラ、政府ハ金融資本家ニ迎合セズ、斷乎トシテ稅制整理ヲヤル考ガアルナラバ、自分ノ所管ニアル大藏省預金部、自分ノ所管ニアル日本銀行其他ノ銀行ト談合シテ、此五分利公債ヲ借換ヘルコトハ不可能デハナイ、之ヲ斷行スルニアラズンバ稅制整理ヲ完成スルニ於テ甚ダ宜シクナイ問題デハナイカト思フノデアリマスガ、昨日大藏大臣ハ當分借換ハナイ――

資本案迎合ノ意味デハナイガ、左様ナ所見ヲ述ベラレテ居ッタ、ソレヲ今日御訂正ヲ願フノデハアリマセヌガ、此處デ御意見ヲ伺ッテモ無理ト思ヒマスカラ、五分利公債借換ハ各種ノ方面カラ斷行セラレンコトヲ希望スルニ止メテ置キマス、一應十分御研究御考慮ヲ煩シタイノデアリマス

○高橋國務大臣 是ハ時機ノ如何ニ依ルコトデアリマス

○松村委員 次ニハ問題ヲ少シ變ヘマシテ現在ノ此増稅ノ目的トナッテ居ル所ノ軍事或ハ貿易關係ノ會社ニ課稅スルト云フ、詰リ政府自ラガ認メテ居ル所ノ跛行的ノ特殊ナ景氣ニ課稅スルノデアルガ、此特殊ナル跛行的ノ景氣ト農村ノ關係ニ付キマシテ、本會議及豫算總會ニ於テ屢々幾多ノ問答ガ重ネラレマシタガ、マダ他ノ方面、他ノ角度カラ殘サレタル問題ガアルト思フノデアリマス、即チ此増稅ノ目的客體タル現在ノ軍事若クハ貿易景氣ト云フモノハ、一般大衆殊ニ農村勞働者ニドウ云フ影響ヲ與ヘテ居ルカト云フコトニ付キマシテ簡單ニ農林大臣ノ所見ヲ伺ヒマス

○山崎國務大臣 農村ニ對シマシテモ相當ノ關係ヲ有ッテ居ルコトヲ認メテ居リマス

○松村委員 相當ノ關係ト云フ漫然タルコ

トデナク、モット露骨ニ伺ヒマスルガ、農村ハ是等ノ特殊景氣ノ被害者デアルト云フコトニハ御考ニナッテ居リマセヌカ

○山崎國務大臣 抽象的ニ被害者トカ受益者トカ云フ判斷ハ出來マセヌガ、矢張都市ガ繁榮致シマスレバ、ソレニ依ッテ農村ニ於テモ或ハ勞力ノ供給デアルトカ何トカ云フ點ニ於テ利益ヲ受ケル部分モアルト私ハ考ヘテ居リマス

○松村委員 度々左様ナ極ク漫然タル御答辯ヲ聞イテ居ルノデアリマスルガ、都市ガ繁昌スルカラ多少勞力ガ殖エルガラウ、要スルニ多少ノ利益ハ受ケテ居ラウト云フヤウナ御答辯ノヤウニ拜シマスガ、私ハ端的ニ申スナラバ、此非常時景氣ノ被害者ハ誰デアルカ、被害者ト云フ言葉ガ露骨過ギルカモ知ラヌガ、大體農村ト労働者ハ確ニ被害者デアル、簡單ニ其理由ヲ申シマシガ、大體今日此非常時景氣ノ一番大キナノハ貿易、軍需景氣ト申シマス、隨テ現在物價ノ大勢ヲ見ルナラバ、一番高クナッテ居ル物價ハ輸入品デアル、是ハ爲替ノ結果當然デアリマス、次ハ輸出品デアル、最後ニアルモノハ國內商品デアル、サウシテ農村ハ賣ル物ハ安ク、買フ物ハ非常ニ高イト云フ事實ヲ御認メニナッテ居リマスカ

○山崎國務大臣 ソレハドウモ松村君ノ御話ハ御無理モナイヤウニモ感じマスケレドモ、サウアナタノ仰シヤルヤウニ簡單ニ、農村ガ被害者デアルトカ、受益者デアルトカ、又農村ノ買フ物ガ總テ高クナッタカ、ソレガ軍需工業トカ、其他ノ關係上高クナッタ云フ風ニ、サウ抽象的ニ私ハ論斷スルコトハドウデアルカ、斯ウ思ヒマス

○松村委員 抽象的ノ論斷ト云フ御話デア

ルガ、其前提トシテ、輸入貨物ガ極端ニ高ク、第二ハ輸出貨物ガ上ッテ、國內商品ガ一番低イ、而モ國內商品中、農村デ作ル物ハ餘リ上ラズ、農村ノ需要スル物ハ非常ニ高クナッタ云フ事實上ノ數字ヲ御調ニナッテ居ラレルカ、御認メニナッテ居ラレカト聽クノデアリマス

○山崎國務大臣 何カ具體的ニ御論斷ノ必要ガアルコトデアリマシタナラバ、具體的ニ御示シニナッテ御尋願ヒマスト云フト、御答申上ゲルノニ大變便宜デアラウト思ヒマス

○松村委員 私カラ數字ヲ讀上ゲルノハ煩瑣デアルカラ、只今ノヤウナ概括的ノ結論トシテ、輸入貨物ハ一番上ッテ、次ハ輸出貨物デ、最後ハ國內商品デアル、國內商品中、農村デ拵ヘル物ハ割合ニ上ラズ、買フ物ハ

各種ノ關係カラ上ッテ居ルト云フ事實ヲ御認メカト、斯ウ云フノデアリマス

○小平政府委員 只今ノ物價ノ御尋デゴザイマスガ、只今物價指數ヲ持ッテ居リマセヌカラ、品目ヲ御指定ニナレバ、物價指數ニ依ッテ調査資料ヲ提出致スコトガ出來ルカト思ヒマス、只今物價指數ヲ持ッテ居リマセヌカラ、即答ガ出來マセヌ、左様御諒承ヲ願ヒマス

○松村委員 物價指數ヲ御持チニナラヌト云フコトナラ、問答ハ面倒デスカラ、私ノ方カラ指數ヲ舉ゲテ、ソレヲ否定サレルカ、肯定サレルカ、昭和六年十二月十日ヲ基準トシ、輸入商品平均ノ物價指數ハ百九十二ト云フ、約倍ニ近イ騰貴デアル、輸出商品ハ百五十四ト云フ五割四分ノ騰貴デア

ル、國內商品ハ百二十二ト云フ二割二三分シカ上ッテ居ラナイ、此事實ハ大體ニ於テ御認メニナリマスカ
○小平政府委員 只今御答致シマス通り何トモ御答出來マセヌ、何レ物價指數ヲ調べテ御答申上ゲマス
○松村委員 物價指數ハ細カク分ラナク

體農村対策ガ立チマスカ

○小平政府委員 個々ノ農村ノ商品ニ付テ御尋ガアレバ、其材料ヲ御示スルコトガ出來マスト思フノデアリマス

○松村委員 個々ノ商品ト云ッテ一ツ／＼商品ヲ舉ゲズニ、大體ノ大局觀ヲ今言ウテ居ルノデ、農村対策ヲヤッテ居ル者ガ、農村ニ一體ドンナ影響ガアルカト云フコトヲ研究シ、ソレノ対策ヲ講ズルノニ、日本ノ物價ガドンナ風ニナッテ居ルカ、分ラナクテ、國內商品ノ農村デ拵ヘテ居ルモノガドンナ趨勢カト云フコトガ分ラズニ、ドウシテ一體農林省ハ対策ヲ講ジテ居リマスカ、大體ノ事ガ御分リニナリマセヌカ、一ツ／＼米ハドウカ、麥ハドウカト云フコトヲ問ハナクテモ、大體ニ見テハドウダ、買ッテ居ルモノハドウダト云フ大體ノ所ガ分ラズニ、ドウシテ農林省ハ対策ヲ講ゼラレマスカ
○山崎國務大臣 ソレハ無論調ベテ居リマスガ、アナタノ御問ガ抽象的ナ御問デ、簡單ニ御答申上ゲルコトガ非常ニ難カシイ御問デアリマスカラ、何カ農村ニ付テドウ云フコトガドウナッテ居ルカト云フヤウナ、御必要ガアレバ、ソレヲ御指摘ニナッテ御尋ニナリマスルト、答辯致ス方モ大變樂ヲ致シマス、斯ウ云フコトヲ申上ゲタ譯デアリマ

ス

○岡田委員長 一寸農林大臣ニ申シマスガ、松村君ハ輸入品ト輸出品ト、國內商品トニ分ケテ、大勢ヲ御尋ニナッテ居ルノデアリマスカラ、大勢ノ御答ガアッテ然ルベキデヤアリマセヌカ

○小平政府委員 大體ト云フカ——正確ニ考ヘマセスト、色々違ヒマスカラ、例ヘバ米ノ如キ其價格ヲ維持シテ居リマス、又農産物ノ中ニモ軍需工業ノ關係デ相當價格ノ上ッテ居ルモノモアリマス、品物ニ依ッテ色色違ヒマス、左様ナ狀態デアリマシテ、輸入品ガ必シモ農村全部ノ商品ニ關係ガアルト云フ譯デハアリマセヌ、矢張個々ノモノニ付テ考ヘマセスト御答出來ナイト思フノデアリマスガ、物ニ依ッテ農村ノ必需品デ或ル程度ノ價格ガ上ッテ居ルモノモアルノデアリマス、併シ又農産物ニ依リ相當價格ヲ維持シテ居ルモノモアルヤウナ次第デアリマス、左様御諒承ヲ願ヒタイ

○松村委員 ドウカ餘リ神經過敏ニ考ヘズニ、私ハ決シテ陷穽ヲ設ケテ問フテ居ルノデナイ、極ク大局論ヲ言フテ居ルノダカラモット率直ニ、一體コンナ事ガ分ラナケレバ對策ノ出來ル筈ガナイ、ソレニ一ツ——商品ヲ舉ゲタ日ニハ、何千ト云フ商品ヲ舉ゲ

ナケレバナラヌカラ、大體ノ物價指數ト云フモノハ何程ニナッテ居ルノデアルカ、大勢ヲ言ッテ居ルノデ、ソレガ一體ハッキリ御答ニナレヌト云フコトデアッテハ、私ハ農林省ノ當局ハ何ヲシテ居ルノカ、實際其點ヲ疑フ

然ラバ數字ニ付テ伺ヒマスルガ、一體農家ニ一番大キナル關係ノアル肥料ハドノ程度ニ、大體大綱ミノ數字ヲ持ッテ居ラナケレバナラヌ、私ノ方デ言ッテモ宜イガ、大綱ミニドノ位上ッテ居ルカ、ソレヲ輸入肥料ト、國內肥料ニ分ケテ極ク大綱ミニ話ヲ伺ヒタイ

○小平政府委員 今農務局長カラ御答致シマス

○小濱政府委員 肥料ノ價格ニ付キマシテハ、大體販賣サレル肥料ニ付キマシテハ、過燐酸肥料ニ付キマシテ、過燐酸石灰、石灰窒素、硫酸ト云フモノガ大部分デゴザイマス、其中デ過燐酸石灰ニ付キマシテハ、大體國內ノ需要デ間ニ合ッテ居リマス、石灰窒素ニ於テモ大體左様デアリマス、輸入セラレルモノハ硫酸デゴザイマス、硫酸ノ輸入サレルモノニ付キマシテハ、最近硫酸ノ價格ガ數量ガ足りナイト云フノデ多少上ッテ居リマスガ、是ハ輸入ヲサレルモノガ幾ラ

ニナッテ、國內ノモノガ幾ラト云フ風ナ區別ガアルノデヤナイノデアリマス、昨今硫酸ノ價格ガ多少上ッテ居ル狀態ニアリマス

○松村委員 少シ的ヲ外レテ居ルガ、大體國內商品デアアル過燐酸ハ殆ド一割五六分シカ上ラズニ、輸入肥料デアアル所ノ硫酸、大豆粕、石灰窒素ノヤウナモノハ七八割上ッタト云フコトハ御認ニナリマスカ

○小濱政府委員 何割上ッタカト云フコトヲハッキリ申上ゲ兼ねマスガ、最近硫酸ガ上リマシタ、ソレハ國內ニ於ケル需要ガ最近ニ至リマシテ、數量ガ足りナイノデヤナイカト云フ風ナ氣配デ上ッテ居ルト思ヒマス、半月位前マデ九十五圓程度ヲ維持シテ居リマシタモノガ、毎日少シツ、騰落ガアリマスガ、昨日ハ慥カ百四圓位ニナッテ居ルカト思ヒマス

○松村委員 大體私ノ方カラ數字ヲ舉ゲテ、細カク調べテ居ルカラ讀メバ非常ニ簡單ナノデスケレドモ、ソレデハ農林省ハドウ考ヘテ居ルカ分ラヌカラ、過燐酸ハ一割五六分シカ上ッテ居ラナイノニ、昭和六年十二月カラ今年ノ一月十五日マデノ間ニ、硫酸ハ五割上リ、大豆粕ハ六割三分、石灰窒素ハ、七割三分上ッテ居ル、斯ウ云フ六七割ト云フ輸入肥料ノ騰貴ハ、個々ノ事情ハ別ト

シテ、一體何處カラ來タカト云フ大局論ハ農林省ハ御分リデアラウ、個々ノモノハ別トシテ、大局論カラ見テ、肥料ハ一體何故上ッタカ、硫酸ハドウトカ、大豆粕ハドウトカト云フヤウナコトハ言ハナイ、モット端的ニ聽クナラバ、是ハ要スルニ爲替ノ結果デアアル、斯ウ云フコトヲ一體農林大臣、大藏大臣ハ御肯定ナサレマスカ

○山崎國務大臣 輸入スル品物ガ爲替相場ノ關係デ價格ガ移動スルト云フコトハ、是ハ當然ナコトデアリマス

○松村委員 私ハ唯率直ニサウ伺ヘバ結構ナンド、要スルニ爲替ノ結果ト、ソレカラ此軍事費ノ結果、輸入商品ハ一番筈棒ニ上ッテ居ル、平均百ノモノガ百九十三ニナッテ居ル、其輸入商品デアアル所ノ農家ノ肥料デアアル大豆粕、硫酸、石灰窒素ノ如キモノハ、個々ノ需要供給ノ問題ハ別トシテ、根本的ニ爲替ノ關係ニ於テ上ッテ居ルノデアアル、然ラバ此爲替景氣、此貿易景氣ノ犠牲ハ、斯ノ如キ意味ニ於テ農民ハ受ケテ居ラナイカドウカト云フコトヲ、端的ニ農林大臣ニ伺ヒタイノデアリマス

○山崎國務大臣 チョット只今伺ヒ漏シマシタガ、先程御話ノハ抽象的ノ御問デアリマシタカラ、輸入品ガ爲替相場ニ依ッテ移

動ガアルト云フコトハ當然ダト云フ理窟ヲ
唯申上ゲタ譯デアリマス、然ラバ日本ノ肥
料ノ、硫酸ノ價格ガ爲替相場ノ爲ニ依ッテ
現實ニ價格ノ變動ガアルカト云フト、私共
ハ左様ニハ考ヘマセヌ、大部分ハ内地ノ製
造ニ依ッテ供給シテ居ル譯デアリマスカラ、
唯不足分ダケハ輸入ニ仰ガナケレバナラ
ヌ、斯ウ云フ關係デアリマスカラ、現實ニ
爲替相場ノ變動其モノガ其通りニ肥料ノ價
格ニ影響ガアル、斯ウ云フ意味デ私申上ゲ
タ譯デハナイノデアリマス

○松村委員 私ハ遺憾ナガラ農林大臣ハ爲
替ノコトハ素人デアルト思ヒマス、ソレハ
私ガ先程申シマス通りニ、硫酸ハドウノ
ト云フヤウナ個々ノコトハ聽イテ居ラナ
イ、併シ今ノ御説明ハ大體要領ヲ得テ居ラ
ナイ、硫酸ハ國內ガ主デアルケレドモ、商品
ノ價格ハ國內ガ主デアッテモ何デアッテモ、
外國カラ入ッテ來ル物ガアレバ、或ル程度ノ
爲替ノ相場ニ支配サレルト云フコトハ、是
ハ相場決定ノ簡單ナル根本原則デアルカラ
今ノ農林大臣ノ答辯ハ殆ド要領ヲ得テ居ラ
ナイ、申ッテ居ラナイ、要スルニ硫酸ト云フヤ
ウナ物ハ爲替變動ノ通りニハ動カヌケレド
モ、昭和六年十二月カラ今日マデ上ツタ
云フ大キナル原因ハ何カト云フト、需要供

給ノ關係ハ外ニシテ、爲替ノ關係デアルト
云フコトハ、是ハ非常ニ明瞭ナル事實デア
ルニ只今肥料ノ問題ヲ擧ゲタガ、肥料ト云ハ
ズ、其外著ル物モ、大體農村ノ使フ物ハ或
ル程度マデ外國カラ買フ物デ、其外綿布類
ト云ハズ、大體ニ於テ非常ニ上ッテ居ル、之
ニ反シテ賣ル物ハ、農産物ハ、成程米ハ昨年
ノ秋カラ上ッテ居ルケレドモ、賣ル物ハ此
割合ニ上ッテ居ルカドウカト云フコトニ付
キマシテハ、農林省ハドウ云フ一體調ガ出
來テ居リマスカ

○小平政府委員 農産物ノ價格ノ御尋ト思
フノデアリマス、米穀等ノ價格ニ付テハ相
當價格ヲ維持シテ居ル譯デアリマス、其他
蔬菜果實等ニ於キマシテモ、亦軍隊デ使用
サレルヤウナ兎ノ皮デアリマストカ、サウ
云フ種類ニ付テハ、相當價格ヲ維持シテ居
ルモノガアルノデアリマス、細カイ統計ハ
持ッテ居リマセヌカラ、正確ナ答ハ出來マセ
ヌガ、大體左様御答致シタイト思ヒマス

○松村委員 私ハ大體今マデノ問答ヲ基礎
ト致シマシテ、所謂軍需景氣トカ、爲替景
氣ノ結果非常ニ困ッタ影響、惡イ影響ヲ受ケ
タモノハ農村デアッテ、只今マデ農村ガ困ル
困ルト論ゼラレテ居ルガ、困ッタル主タル原
因ハ、又大キナル原因ノ一ツハ爲替、所謂

非常時景氣ノ結果、買フ物ハ高クナッテ、其
割合ニ賣ル物ハ上ラヌト云フコトデハナイ
カ、此點ニ付キマシテ大藏大臣竝ニ農林大
臣ノ簡單ナル結論ヲ伺ヒマス

○高橋國務大臣 爲替ノ下ツタノガ農村ニ
累ヒシテ居ルト云フ御見解ノヤウデスガ、
サウニ違ヒナイ、是ハ唯爲替ノ點カラ言ッ
ラバ、外國カラ入ル物ハ高クナッテ居ルニ
相違ナイ、我國ノ貨幣デ計ル以上ハ、其外
國品ヲ買フ農家ハ高イ物ヲ買ッテ居ルニ違
ヒナイ、ソレハ明ナ事實デアル、ソレハ農
村ニ限リハシナイ、總テノ國民ガ外國品ヲ
買フ者ハ、我國ガ金本位ヲ離脱シタ以來
ハ、我國ノ貨幣デ積レバ高イ物ヲ買ッテ居
ルト云フコトハ言ハレルノデアリマス、殊
更ニソレガ農村ヲ累ヒシタト言フニモ及バ
ヌガラウト思フ、ソレカラ第一此農村ノコ
トヲ言フナラバ、三年バカリ前カラズツト
引續イテドウ云フ風ニ變化シテ居ルカト云
フコトヲ大局カラ見テ、益々農村ハ疲弊困憊
ニ陥ッテ困ッテ居ルカ、二三年前カラ較ベテ
或ハ前途ニ光明ガ今日ハ矢張農村ニモ及ン
デ居ルカ、サウ云フコトヲ大體ニ於テ見タ
方ガ宜カラウト思フ、私ノ記憶ニ依ルト云
フト、段々年々ノ農村ノ困憊生活ノ狀態ト
云フモノガ、不満足デアルト云フコトヲ言フ

人ノ聲ガ段々變ッテ來テ居ル、失業ガ今日
アッテ困ルト云フ聲ハ餘程少クナッタ、失業
者ガ多クテ困ルト云フ聲ガ高イ時代ニハ、
農村ガ非常ニ困ッテ居ッタ、家族制度ノ關係
カラ、都會デ失業シタ者ハ元ノ農村ニ戻ル、
然ルニ農村ノ作物ハ、米ヲ初メ安クテ困ッ
居ル上ニ都會ニ出テ稼イデ居ル者ガ歸ッテ
來テ、働クニ仕事ハナシ、養ハナケレバナラ
ヌ、斯ウ云フノガ一番農村ノ困ッタ時デア
タラウト思フ、ソレ以來段々變ッテ來テ、寧
ロ好クナッテ居ル、惡クナッテ居ルトハ私ハ
思ハナイ、ソレデ爲替相場ノ影響ヲ受ケテ、
物價ガ高クナッタト云フコトヲ農村バカリ
ニ限ッテ言フ必要ハナイノデアル、前申ス通
リ、外國品ヲ使フモノハ皆サウデアル、ソ
レカラ農村ト雖モ、場所ニ依ッテ皆違ヒマ
セウ、養蠶ノ盛ナ農村ニ於テハ、生絲ガ高
ク賣レ、繭ガ高ク賣レ、バソレデ助カルト
云フヤウナ狀態デアル、ソレモ此間中ハ丁
度繭ヲ賣ル時分ニ、生絲ガ安カッタト云フノ
デ苦情ガアッタ、此頃又生絲ガ値段ガ出テ來
タ、サウスルト其方ノ苦情ハ聞エナクナッ
タト云フヤウナ風デ、始終變ッテ行クノデア
ル、アナタノ質問ノ目的ガ一體何處ニ目度
ヲ附ケテ居ラレルノカ分ラヌ

○松村委員 私ハ筋ヲ追ウテ結論ニ到著ス

ルノデアリマスカラ、別ニ落シ穴ヲ拵ヘタル譯ヂヤナイ、初メカラ私ガ説明スレバ質問ハ要ラヌ、政府ノ所見ヲ質シ、政府ハ如何ナル方策ヲ有テ居ルカ、如何ナル考ヲ持ッテ居ルカト云フコトヲ質スノガ此議場デアリマス、甚ダ御足勞恐縮デゴザイマスルガ、

左様ナ意味ニ於テ暫ク御聽取ヲ願ヒタイ、爲替其他ノ影響ガ農村ダケニ及ンダトハ私ハ決シテ思ッテ居リマセヌ、一般大衆、殊ニ農村及勞働者ト先程カラ明確ニ簡明ニ質問ノ冒頭ニ於テ申上ゲテ居リマス、一般大衆ガ影響ヲ受ケルノデアルケレドモ、農村ハ、殊ニ賣ル生絲ハ成程此頃騰ツタ、米モ成程昨今ハ騰ツタガ、昭和六年ノ米ノ最高値段ハ三十一圓六十錢デアリマシタ、此頃米穀統制委員會デ決メマシタ値段ハ三十一圓五十錢デアリマスガ、昭和五年六年最高値段ヨリ尙ホ十錢低イ、隨分米ガ騰ツタト云フテ居ルガ、不景氣ノ昭和六年頃カラ比較シテ、農林省ノ決メテ居ラル、最高値段ハ十錢低イ、米ハ左様デアアル、生絲ハ左様デアアル、繭ハ左様デアアル、賣ルモノハ即チ爲替其外ノ關係ニ於テ、國際商品ガ高ク輸入商品ガ高ク、而シテ國內商品ハ安イ、而モ國際輸出商品デアルベキ生絲ガ爲替ノ恩恵ヲ受ケナイト云フ今日ノ農村ノ現状カラ見マシタナラバ、爲

替相場ノ惡影響ヲ比較的多分ニ受ケタルモノハ、農村デアルト云フコトハ、否定出來ナイ、ソレ故ニ私ハ冒頭ニ於テ大衆、殊ニ農村ト申上ゲタノデアリマス、尙ホ勞働者ヲ何故舉ゲタカト申シマスナラバ、勞働者ハ

是ハ昭和六年ノ十二月カラ今日迄、勞働者ノ定額賃銀ハ一割三分減ジテ居リマス、實收賃銀モ減ジテ居リマス、勞働者ハ昭和五年ト云フ不景氣ノ絶頂カラ今日ヲ較ベマシテモ、定額賃銀並ニ實收賃銀共ニ減ッテ居ル、勞働者ノ收入ハ減ッテ居ル、成程特殊ナ勞働者ハ、機械工業トカ、或ハ特殊ナ精密工業ノ勞働者ハ驚クベキ高給ヲ取ッテ居リマスルガ、是ハ内閣カラ出タノダカラ間違ハナイト思ヒマスガ、此内閣カラ吾々ニ渡サレタ表ニ依リマス昭和四年ニ比シテ定額賃銀ハ一割三分減、實收賃銀ハ一割減、昭和六年ニ比スルナラバ定額賃銀ハ七分減、實收賃銀ハ四分減デアアル、勞働者ノ收入ハ斯ノ如ク一方デハ物價ガ騰ルニモ拘ラズ、實收並ニ定額賃銀共ニ減ッテ居ル、是ガ私ガ爲替其他ノ所謂非常時景氣ト一方デハ喜ンデ居ルガ、此被害者ハ即チ一般大衆、殊ニ勞働者並ニ農民デアルト冒頭ニ置イタ譯デアリマスガ、此問題ニ付キマシテ大藏大臣並ニ農林大臣ハ此數字ヲ肯定ナサレマ

スカ、御否定ナサレマスカ

○高橋國務大臣 凡ソ統計ハ唯統計ノ數ダケヲ吞込ンデ、一ツノ問題ヲ解決スルコトハ出來ナイモノデアラウト思フ、私ハマダ能ク見ナイケレドモ、勞働賃銀ト言ッテモ、

其勞働者ノ中ニハ色々ノ種類ノ職工モアレバ、又其中ニハ男工女工モアリ、サウ云フ色々ナ者ガ含マレタ統計ガ、今ノ統計ノ數字ニ示サレテ居ルノデアアル、併シ此爲替相場カラ問題ガ起ッテ居ルノダガ、爲替相場ガ大衆ニハ寧ロ害ニナッテ居ルト云フヤウナ御考デアルガ、爲替相場ガ下ツタト云フコトガ、大體害ニナッテ居ルノカ、利益ニナッテ居ルノカ、一方ニ於テ輸出ノ増進シタコトモ見ナケレバナラヌ、此景氣全體ノ恢復ト云フコトガ、一般ノ幸福ヲヤハリ増進スル譯ニナルノデアアル、統計ノ用ヒ方ハ餘程公平ニ廣ク考ヘナイト、一ツノ局部ノコトニ囚ハレテ、サウシテ統計ヲ使フト云フト、其結果ハ偏見ニナルノデアアル、ドウカサウ云フ弊ニ陥ラヌヤウニ公正ニ統計ヲ使用シテ、吾々ニ其知識ヲ與ヘテ戴キタイ

○松村委員 ドウモ遺憾ナガラ只今ノ大藏大臣ノ御答辯ハ願ミテ他ヲ言フヤウナ恰好デアアル、私ハ何故ニ豫算總會並ニ吾々ノ委員會ニ於テ、政府ハ斯ノ如キ内閣統計局カラ

出サレタ數字、是ハ私ハ物價指數ト同ジヤウニ、個々ノ問題ヲ一々言ハナイケレドモ、全體ノ總數ヲ茲ニ平均シタモノデアリマスケレドモ、勞働賃銀ガ斯ノ如キ狀態ニナッテ居ルト云フコト、内閣ガ茲ニ出シタ數字ハ、

是ハ今大藏大臣ガ言ハレル通りニ、多少ノ參考ニシカナラヌト云フナラバ、敢テ何ヲカ言ハンヤデアリマス、苟モ内閣ガ吾々ニ出シタ數字ガ、勞働者ノ狀態、農民ノ狀態ヲ明ニ物語ッテ居ル、ソレダカラシテ一般大衆ニ此爲替非常時景氣ニ依ッテ、利得スル者ガ澤山アル、アルト云フコトハ言フヲ俟タヌガ、半面ニ斯ノ如キ被害者ガアル、被害者ト云フ言葉ガ惡イナラバ、惡影響ヲ受ケル者ガアルト云フ事實ヲ擱マナケレバ、ドウシテ政府ハ對策ガ講ゼラレマスカ、私ハ農民ガ困ルノコト云フ簡單ナ理窟ヲ述ベルノデハナイ、何故困ルカ、國家ノ政策ノ結果困ル、農民自ラガ招ク所ノ根本的ノ原因モアルガ、國家ノ政策ノ結果、勞働者農民大衆ハ困ルト云フ事實ヲ擱マズシテ、ドウシテ對策ガ講ゼラレルカ、唯農民ガ困ルカラ金ヲ與レナドトサウ云フ情ナイコトヲ言フノデハナイ、國家ノ已ムヲ得ザル政策ノ結果、ソコニ勞働者農民大衆ハ困ルヤウナ、意外ナル事實ガ

起テ來ルノデアルカラシテ、其事實ヲ擧
マズニ、ドウシテ一體國策ガ樹ツカト、斯
ウ伺ヒタイノデアリマスガ、今大藏大臣ハ
一ツノ數字ヲ擧ヘズニ、自分ノ都合ノ好イ
數字ヲ擧ヘズニトカ仰シヤルガ、私ハ内閣
ノ數字ヲ使ッテ居ルノデスカラ、自分ニ都合
ノ好イヤウニソシナ數字ヲ使ッテ居ルノデ
ハアリマセヌ、明確ニ只今申シマシタヤウ
ニ、政府カラ出シタ數字其儘ヲ基礎トシテ
居ル、尙ホ是ハ私ガ問答ヲ重ネルヨリモ、商
工省ハ之ニ對シマシテ明確ナル結論ヲ與ヘ
テ居ル、商工省ハ此一月ニ斯ノ如キ意見ヲ
天下ニ公表シテ居ル、其商工省ノ趣旨ハ、今
書イタモノガ茲ニアッタノデアリマスケレ
ドモ、要スルニ、此非常時ノ景氣ハ、或ハ軍
需景氣ト云ヒ、或ハ貿易景氣ト云フガ、
要スルニ其背後ニ於ケル國民大衆ノ
全般的犠牲トナル、故ニ輸出業者竝ニ
軍需關係者ハ、彼等ノ背面ニ斯ウ云フ
ヤウナ非常ニ惡イ影響ヲ受ケテ居ル者モ
アルト云フコトヲ看過シテハナラヌ、サ
ウ云フコトヲ明白ニ商工省貿易局ノ名ヲ以
テ天下ニ公表シテ居ル、私ノ言ハントシテ
居ル所ヲ、商工省ハハッキリト明白ニシテ
居ル、ダカラサウ云フ事實ヲ一體認メズ
ニ、國策ハ立タナイ筈デアル、ソレ故ニ農

村ノ問題デモ、勞働者ノ問題デモ、唯困ル
困ルト云フヤウナ漫然タル話デハナイ、大
體サウ云フ影響ガアルト云フコトヲ肯定シ
ナケレバ、是カラ國策ヲ質問シテモ無意味
デアルト思ヒマスカラ、ソコデ只今ノ如キ
質疑ヲ重ネタノデアリマスガ……

○岡田委員長 松村サン、アナタノ御質問
ハ非常ニ重大ナ問題デアリマシテ、マダ何
レ先ガ長イノドラウト思ヒマス、此位デ今
日ハ打切ッテ、其次ニ又致シタラ宜カラウト
思ヒマス、今丁度、切りノヤウニ思ヒマス
カラ……

○松村委員 私ハ大分質問ガアリマスカラ
……

○岡田委員長 ソレデハ本日ハ是デ散會致
シマス、次會ハ公報ヲ以テ申上ゲマス

午後三時四十二分散會

昭和十年二月十六日印刷

昭和十年二月十七日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社